第２次磐田市総合計画
後期基本計画

実 施 計 画 書

（令和8年度 － 令和 10 年度）

令和 8年 9月

磐田市

目　　次

❶ 実施計画の位置付け…… 1

❷ 実施計画の目的と期間…… 2

❸ 実施計画策定にあたっての基本的な考え方…… 2

❹ 実施計画の対象事業…… 2

❺ 計画期間内の分野別事業費…… 3

❻ 実施計画の構成…… 4

❼ 実施計画事業

分野１　産業・雇用・観光・移住定住…… 6

分野２　自治・スポーツ・文化・歴史・共生…… ２０

分野３　子育て・教育…… ３０

分野４　健康・福祉…… ４９

分野５　防災・消防・安全安心…… ６４

分野６　都市基盤・環境…… ７８

1 実施計画の位置付け

本市では、第１次磐田市総合計画の計画期間終了に伴い、平成 29 年３月に「たくさんの元気と笑顔があふれるまち 磐田 ～今までも、これからも ずっと磐田～」をまちの将来像とする第２次磐田市総合計画を策定しました。今後は、このまちの将来像の実現に向けて、総合的・計画的に取り組んでいきます。

実施計画は、こうしたまちづくりを着実に推進するため、具体的な事業や実施方法等をまとめた計画として策定したものです。

【計画の構成】



基 本 構 想

■平成 29 年度～令和８年度

まちづくりの基本的な考え方を示す「理念」、目指す「将来像」、これを実現するための「基本施策」をまとめたもの

基 本 計 画

■前期：平成 29 年度～令和３年度

■後期：令和４年度～令和８年度

基本構想に基づき、計画期間内の基本的な施策を体系的に示したもの

実 施 計 画

■３ヵ年（毎年度ローリング）

基本計画に位置付けられた各施策の具体的な実施方法等をまとめたもの

2　実施計画の目的と期間

実施計画とは、本市が目指すまちの将来像の実現に向け、後期基本計画に掲げる施策の方向性に基づいて実施する主要な事業について、事業内容と実施時期等を明らかにし、行財政運営の指針とするものです。

また、この計画は、社会経済情勢などの変化に柔軟に対応するとともに、財政状況を的確に反映させるため、ローリング方式により毎年度更新をしていきます。

この実施計画の計画期間は、令和８年度から令和 10 年度までの３年間とします。

3　実施計画策定にあたっての基本的な考え方

実施計画の策定にあたっては、以下の視点に基づき策定することとしています。

⑴　財政状況等を考慮し、事業の重要度・緊急度・優先度を総合的に勘案した上で、持続可能で磐田市の「未来を守る」「未来を創る」ことにつながる計画とする。
⑵　実施計画に掲げる事業は、実施時期・実施箇所・事業規模等の事業内容を明確にし、市民に対し分かりやすいものとする。
⑶　後期基本計画に設定した「５つの安心プロジェクト」に関係する施策を重点的に推進する。

4　実施計画の対象事業

後期基本計画に示した施策を推進する上で、特に主要な事業として、実施を予定するもののうち、下記の要件を満たす事業を対象とします。

なお、コスト（事業費）が発生しない事業であっても、主要な事業に位置づけられるものは対象とします。

（1）　後期基本計画の各分野に示された施策と主な取組みに当てはまる事業
（2）　総事業費が１億円以上のハード事業
※国・県・民間などが事業主体で、市が１億円以上の事業費を負担・助成するものを含む。
（3）　後期基本計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略に示した施策の推進に向けた主要なソフト・ハード事業

■後期基本計画における「取組分野７　行財政改革」に係る事業については、別途策定した『第４次磐田市行財政改革実施計画』にて取組みを進めています。

5 計画期間内の分野別事業費

対象事業の考え方に基づき算出した取組分野ごとの事業費です。

なお、この計画に掲載された事業の実施については、社会情勢や財政状況の変化により、計画の変更・中止なども充分あり得ることから、必ずしも予算化を約束するものではありません。

（主要事業　事業費ベース）　　単位：百万円

		3カ年事業費	財源		
			一般財源（その他収入含む）	特定財源（国・県支出金）	特定財源（市債）
【分野1】産業・雇用・観光・移住定住		1,897	1,468	383	46
		1,897	1,468	383	46
【分野2】自治・スポーツ・文化・歴史・共生		3,741	2,920	444	377
		3,741	2,920	444	377
【分野3】子育て・教育		12,352	6,749	3,037	2,566
		12,352	6,749	3,037	2,566
【分野4】健康・福祉		3,066	2,190	876	0
		5,151	3,058	1,800	293
【分野5】防災・消防・安全安心		15,153	5,470	483	9,200
		17,651	6,316	1,293	10,041
【分野6】都市基盤・環境		8,897	3,594	3,055	2,248
		18,772	5,948	6,331	6,493
合　計	計（一般会計分）	45,105	22,390	8,278	14,437
	計（全事業）	59,563	26,459	13,288	19,816

※上段は一般会計事業分、下段は、特別会計・企業会計の事業分を含む。

6 実施計画の構成

分野ごとの施策の順番に、実施計画事業の計画内容について掲載しています。



分野1
1 産業・雇用・観光・移住定住
実施計画事業
2 基本施策1 元気な農林水産業の育成
施策の内容
(1) 担い手の育成・確保を行い"新しい農業"を創出します
(2) 農林水産資源の保全を図ります
(3) 農林水産資源を活かした魅力の発信を進めます
実施計画事業
※1 未来と仕事の安心 ※2 総合戦略
No 1
事業名 特産品（海老芋）承継事業 3
事業概要 本市の特産品である海老芋の栽培農家の減少、高齢化に対応するため、ＪＡや生産者等と連携し、担い手育成や承継事業の仕組みを構築し、日本一の[4]持・拡大を目指す。
担当課名 農林水産課 [4]費（千円） 5 3,975
R8 R9 R10
6 事業内容
新規就農者育成総合対策事業による資金の交付
海老芋で新規就農を目指す研修生に交付金を支給
技術指導をＪＡに委託
海老芋のPR方法の検討
指標 新規就農者育成総合対策事業の活用人数
7 目標値
R8 R9 R10
2人 2人 2人
8 実績（R7）
目標値 実績値 評価
2人 0人 C 目標値の70%未満
R7は特産品（海老芋）承継事業の研修生はいなかった。
引き続き、就農フェア等のイベントでPRをすることにより、研修生となる人材の確保を図っていく。
また、研修生を指導する海老芋生産者が限られていることが課題となっているため、JA等と連携し指導農家の確保を図っていく。

① **分　　野** … 分野名を記載しています。

② **基本施策** … この分野で示している基本施策を記載しています。

③ **事　業　名** … 実施計画事業名（事務事業名等）を記載しています。

※1 後期基本計画の中で、分野横断的に重点的に取り組む内容としている「５つの安心プロジェクト」の該当する項目を表示しています。

※2 まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲載されている事業は「総合戦略」と表示しています。

④ **事業概要** … 事業の内容を簡単に記載しています。

⑤ **概算事業費** … ３年間の事業内容に要する経費を記載しています。事業費を要しない場合は「―」で表示しています。【単位：千円】

⑥ **事業内容** … 各年度に実施する事業内容を記載しています。前年度と同内容の場合は「➡」で表示しています。

⑦ **指標と目標値** … 指標と各年度に達成するべき目標値を記載しています。

⑧ **実　　績** … 前年度の目標値・実績値・評価・詳細内容を記載しています。評価は下記の評価区分に応じて表示しています。

評価	内容
A	目標値以上
B	目標値の 70～100%未満
C	目標値の 70%未満
D	実績値等発表前、当該年度に調査なし等

7 実施計画事業

分野 1 産業・雇用・観光・移住定住

実 施 計 画 事 業

基本施策 1 元気な農林水産業の育成

施 策 の 内 容

⑴ **担い手の育成･確保を行い“新しい農業”を創出します**
⑵ **農林水産資源の保全を図ります**
⑶ **農林水産資源を活かした魅力の発信を進めます**

実 施 計 画 事 業

No	1	未来と仕事の安心	総合戦略

事 業 名	**特産品（海老芋）承継事業**		
事業概要	本市の特産品である海老芋の栽培農家の減少、高齢化に対応するため、ＪＡや生産者等と連携し、担い手育成や承継事業の仕組みを構築し、日本一の産地の維持・拡大を目指す。		
担当課名	農林水産課	概算事業費（千円）	3,975
事業内容	R８	R９	R１０
	新規就農者育成総合対策事業による資金の交付 海老芋で新規就農を目指す研修生に交付金を支給 技術指導をＪＡに委託 海老芋の PR 方法の検討		
指標	新規就農者育成総合対策事業の活用人数		
目標値	R８	R９	R１０
	２人	２人	２人

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	２人	０人	C　目標値の 70%未満
	R7 年度は特産品（海老芋）承継事業の研修生はいなかった。 引き続き、就農フェア等のイベントで PR をすることにより、研修生となる人材の確保を図っていく。 また、研修生を指導する海老芋生産者が限られていることが課題となっているため、JA 等と連携し指導農家の確保を図っていく。		

No	2	未来と仕事の安心	総合戦略

事 業 名	**新たな特産物産地形成支援事業**		
事業概要	新たな農産物の産地化に取り組むことにより、 農業者の所得向上や経営の安定化、農地の荒廃未然防止を図る。		
担当課名	農林水産課	概算事業費（千円）	69,100

事業内容	R８	R９	R１０
	レモンを作るための畑の整備に係る経費及び 収穫までの未収益期間に係る資材費等の経費について補助金を交付		

指標	レモンの生産（定植）面積（ha）

目標値	R８	R９	R１０
	15ha	15ha	16ha

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	8ha	8.8ha	A　目標値以上

42 件、12,024 千円の補助金を交付。
更なる利用促進を図るため、対象範囲の見直しや新たな周知方法の検討を行う。

No	3	未来と仕事の安心	総合戦略

事 業 名	**耕作放棄地対策事業**		
事業概要	地域課題となっている荒廃農地を担い手が再生を行い、農地の有効利用を促進し、耕作放棄地対策事業として支援を行う。		
担当課名	農林水産課	概算事業費（千円）	9,900

事業内容	R８	R９	R１０
	荒廃農地の発生の抑制と 荒廃した農地を再生するため補助金を交付		

指標	耕作放棄地の解消面積（ha）

目標値	R８	R９	R１０
	0.70ha	0.70ha	0.70ha

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	0.70ha	0.57ha	B　目標値の 70%から 100%未満

R7 年度は 3 件、0.57ha の荒廃農地を解消した。
今後も、荒廃農地の発生を未然に防ぐために耕作者へのマッチングや、引き続き荒廃農地再生事業補助金を活用し、農地の有効活用を図っていく。

No	4	未来と仕事の安心	

事業名	基幹水利施設ストックマネジメント事業		
事業概要	県営事業で造成した基幹的農業水利施設等の機能保全対策工事を行い、施設の長寿命化及び遠隔操作化を図る。 ①中瀬排水機場　事業期間：R4～R10　②浜部排水機場　事業期間：R4～R11 ③新・旧大原排水機場　事業期間：R10～R15　④大池川排水機場　事業期間：R11～R16 ⑤小島排水機場　事業期間：R12～R16 ⑥排水機場遠隔化（浜部・中瀬・浜新田）　事業期間：R7～R10 ⑦排水機場遠隔化（新・旧大原）　事業期間：R10～R13		
担当課名	農林水産課	概算事業費（千円）	108,250

事業内容	R８	R９	R１０
	更新施設負担金（中瀬・浜部排水機場） 遠隔化工事負担金（中瀬・浜部・浜新田排水機場）	更新施設負担金（中瀬・浜部排水機場） 遠隔化工事負担金（中瀬・浜部・浜新田排水機場）	更新施設負担金（中瀬・浜部・大原排水機場） 遠隔化工事負担金（中瀬・浜部・浜新田排水機場） 遠隔化工事負担金（新・旧大原排水機場）

指標	確保すべき排水量（14 機場総排水能力 71.8 ㎥/S）

目標値	R８	R９	R１０
	30.3 ㎥/S	30.3 ㎥/S	30.3 ㎥/S

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	30.3 ㎥/S	30.3 ㎥/S	A　目標値以上
	R7 年度は浜部排水機場ポンプ関連設備の更新と中瀬排水機場の除塵機設備の更新を行った。人件費、建設資材の高騰による事業費の増加が課題として挙げられる。 今後は、老朽化した施設を計画的に更新していくとともに、排水機場の遠隔化システムを導入し、円滑な機場管理を行っていく。		

No	5	未来と仕事の安心	

事業名	農業基盤整備事業（竜洋東地区）		
事業概要	竜洋東地区において、農地所有者と耕作者が一丸となり、農地集積を推進しながら、国の認可を受けた県営事業として大規模な農業基盤整備を行う。 事業期間：R2～R10 事業内容：排水路工 4,143m　農道整備工 1,581m　区画整理工 7.4ha 受益面積：24.7ha		
担当課名	農林水産課	概算事業費（千円）	29,100

事業内容	R８	R９	R１０
	県営事業負担金		

指標	竜洋東地区の事業進捗率（事業費ベース）

目標値	R８	R９	R１０
	66.1%	77.1%	100%

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	58.6%	59.7%	A　目標値以上
	R7 年度は農道整備を 270m 実施した。 R8 年度以降は引き続き排水路や農道整備を進めて、R10 年度の事業完了を目指す。		

基本施策 2　中小企業等の競争力強化と企業立地の推進

施 策 の 内 容

⑴ **ビジネスチャンスを創出します**
⑵ **地域企業の活動を支援します**
⑶ **企業誘致を推進します**
⑷ **地場産業の振興を図ります**

実 施 計 画 事 業

No	6	未来と仕事の安心	総合戦略

事 業 名	**マーケティング支援事業**		
事業概要	国内外において中小企業等の販路開拓を支援する。		
担当課名	産業政策課	概算事業費（千円）	22,027
事業内容	R８	R９	R１０
	国内外における中小企業等への販路開拓の支援 展示会等に出展する中小企業等の経費の一部を支援		
指標	国内外の販路開拓に関心がある事業者への訪問件数(年間延べ件数)		
目標値	R８	R９	R１０
	160 件	160 件	160 件

目標値	実績値	評　価
160 件	102 件	C　目標値の 70%未満

実績（R７）

タイ・バンコクにて産業交流及び磐田フェア、商談会を開催しタイ工業省及びバンコク市内スーパーのバイヤーとの交流を深め、取引を成約し、ＭＯＵの締結に至った。
R8 年度はＭＯＵを締結したタイ工業省と連携し、共同商品開発や継続的な販路拡大に取り組むとともに、国際姉妹都市マウンテウンビュー市（シリコンバレー）の現地スタートアップ等と市内中小企業の連携機会創出を目指し、継続的な産業交流に繋がるネットワークの体制づくりに取り組んでいく。
また、販路開拓支援補助金やよろず相談、国や県の支援制度等を活用して引き続き国内・国外の販路開拓に取り組む市内事業者を支援していく。

No	7	未来と仕事の安心	

事業名	中小企業等承継支援事業		
事業概要	中小企業等の事業承継を支援する。		
担当課名	産業政策課	概算事業費（千円）	0
事業内容	R８	R９	R１０
		中小企業等の事業承継を支援	
指標	支援企業件数（件/年）		
目標値	R８	R９	R１０
	2 件	2 件	2 件

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	2 件	0 件	C　目標値の 70%未満

企業訪問時に診断票を用いて、支援対象事業者の掘り起こしを行った。
意識はあるものの、すぐに検討・対応していく予定の企業は少ない。引き続き継続的な診断を行いたい。
また、過去診断先へのフォローをして具体的支援事例に繋げていくとともに、事業承継推進に繋がる他自治体の取組みについて、情報収集していく。

No	8	未来と仕事の安心	

事業名	いわた産業イノベーション事業		
事業概要	スタートアップ企業と市内企業等とのネットワークを形成し、協業創出による地域産業の活性化を図る。		
担当課名	産業政策課	概算事業費（千円）	49,233
事業内容	R８	R９	R１０
	新たな協業案件の創出と伴走型支援の実施 「(仮)スタートアップ創出･誘致戦略」を盛り込んだ経済産業振興プラン策定	新たな協業案件の創出と伴走型支援の実施 ネットワークコミュニティの充実 協業による新規事業創出等	
指標	市内企業とスタートアップ企業との協業案件の創出件数（件／年）		
目標値	R８	R９	R１０
	3 件	5 件	5 件

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	2 件	4 件	A　目標値以上

産業イノベーションマネージャーと連携し、市内企業とスタートアップとのマッチング件数 12 件、協業案件 4 件を創出した。

No	9	未来と仕事の安心	総合戦略

事業名	**企業立地推進事業**		
事業概要	市内への企業立地を積極的に推進するため、工場や次世代産業施設等の新増設を行う企業への支援や企業誘致活動を行う。		
担当課名	産業政策課	概算事業費（千円）	976,714

事業内容	R８	R９	R１０
	→	→	→
	企業誘致活動 市内での工場等の新増設を行う企業への支援 企業訪問による情報収集		

指標	企業立地に関する事業者への訪問件数（年間延べ数）

目標値	R８	R９	R１０
	300 件	300 件	300 件

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	300 件	474 件	A　目標値以上
	企業の立地相談に応じ、６社の誘致ができた。用地を求める企業の洗い出しや移転に伴う雇用の確保支援をしながら、今後も企業ニーズや社会状況を踏まえた支援を続ける必要がある。		

No	10※新規	未来と仕事の安心	総合戦略

事業名	**未来投資推進事業**		
事業概要	産業用地の確保に向け、法定手続きに必要な資料の作成、及び新たな産業用地の開発に向けた調査を実施する。		
担当課名	産業政策課	概算事業費（千円）	22,933

事業内容	R８	R９	R１０
	沿岸部市街化編入協議資料作成 新磐田SIC周辺開発可能性調査	→	→
		産業用地開発協議資料作成業務委託	

指標	産業用地の開発決定（単位：ha）　※計画期間合計値

目標値	R８	R９	R１０
	0 ha	0 ha	10 ha

基本施策 3　産業を担う人材の育成･就労の支援

施 策 の 内 容

⑴ **求職者等就労支援体制を構築します**
⑵ **創業･起業を支援します**
⑶ **若者･女性の就労を支援します**
⑷ **障がい者･高齢者の就労を支援します**

実 施 計 画 事 業

No	11	未来と仕事の安心	総合戦略

事 業 名	**地域雇用支援事業**		
事業概要	人材不足が深刻化する市内企業の雇用確保を支援し、定住人口の増加に繋げるとともに、小中高生の職業観、就労意欲を高めるための事業や障がい者等の就労支援を実施する。		
担当課名	産業政策課	概算事業費（千円）	67,022
事業内容	R８	R９	R１０
	→	→	→
	UIJ ターン就職･地元定着促進事業の実施 高校生就労支援事業の実施 障がい者就労支援事業の実施		
指標	UIJ ターン就職・地元定着促進事業による市内企業への就職者数（人）		
目標値	R８	R９	R１０
	50 人	50 人	50 人

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	50 人	29 人	C　目標値の 70%未満

県内外大学における学内ガイダンス、西部三市による就職フェアの広域開催等に加え、磐田市就活情報専用サイト「磐田 de」や就活公式ライン、SNS 等を活用した企業のインターンシップや就活イベント情報の発信、いわた就活サポーターとの交流機会の提供等を実施したことで、大学生等の UIJ ターン促進に関して一定の成果が得られた。

その他にも、袋井市、商工団体と連携して広域的な取組を進めるとともに、「Out of KidZania in いわた」の開催により、市内に住む小中学生を中心に、地元企業の魅力を伝えることができた。

今後は、広域開催の継続や、多様化する求職者ニーズや就職活動に応じた企業とのマッチング機会の拡充を図るとともに、市内企業の魅力を広く発信していく必要がある。

基本施策 4　交流人口の拡大と商業・サービス業の活性化

施 策 の 内 容

⑴ **観光・交流を推進します**
⑵ **まちのにぎわいづくりを推進します**
⑶ **やる気ある個店を支援します**

実 施 計 画 事 業

No	12	未来と仕事の安心	総合戦略

事業名	**磐田市観光協会支援事業（「いわたおんぱく」の実施）**		
事業概要	本市の文化や歴史、魅力ある産業等を活用した体験プログラムを提供することで、新たな「体験価値」を創出し、商品化を進める「地域資源の磨き上げ」を目的とした、観光振興イベント「いわたおんぱく」を開催する。		
担当課名	観光政策課	概算事業費（千円）	8,400

事業内容	R８	R９	R１０
			
	いわたおんぱく年1回開催		

指標	プログラム参加者の満足度（%）		
目標値	R８	R９	R１０
	95%	95%	95%

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	95%	96.2%	A　目標値以上

プログラム参加者の居住区割合(域外)について、R6 年度の 16.5%と比較し、R7 年度は 22.4%と近隣市町からの参加者を獲得し、交流人口の増加に寄与するとともに、参加者の 96.2%から「満足した」と回答を得ることができた。
近隣市町の参加割合は増加傾向にあるものの、引き続き新たな情報発信手段を検討し、PR の範囲の拡大に取り組む必要がある。

No	13※新規	未来と仕事の安心	総合戦略

事業名	リノベーションまちづくり推進事業		
事業概要	リノベーションまちづくりを推進することで、中心市街地の活性化を図る。		
担当課名	産業政策課	概算事業費（千円）	14,526
事業内容	R８	R９	R１０
	リノベーションスクールの実施 まちづくり講演会の実施 物件と人材の発掘 民間プレイヤーの伴走支援		まちづくり講演会の実施 物件と人材の発掘 民間プレイヤーの伴走支援
指標	事業化件数（件）		
目標値	R８	R９	R１０
	２件	２件	２件

No	14※新規	未来と仕事の安心	総合戦略

事業名	旧市民文化会館等跡地利活用事業		
事業概要	公民連携の手法を活用した民間事業者との「共創」により、市民ニーズの高い機能を備えた新たな民間施設の整備を目指していくことを前提に利活用を進める。		
担当課名	資産経営課	概算事業費（千円）	31,229
事業内容	R８	R９	R１０
	事業実施方針案の作成 民間事業者へのサウンディング調査 募集要項等の作成　等	事業者の公募･選定、 事業者との協定･契約、調整 等	市の関与未定
指標	市民ニーズの高い機能を備えた新たな民間施設の整備		
目標値	R８	R９	R１０
	公募書類作成 サウンディング調査	公募・選定 協定・契約等締結	着工

No	15	未来と仕事の安心	総合戦略

事業名	軽トラ市開催支援事業		
事業概要	軽トラ市の開催を支援し賑わいを創出するとともに、運営に携わる実行委員会に対して、活動の幅を広げ、中心市街地活性化における様々な場面への参画を支援する。		
担当課名	産業政策課	概算事業費（千円）	2,220

事業内容	R８	R９	R１０
	軽トラ市実行委員会への支援 国分寺まつりとの連携		

指標	軽トラ市への来場者数（人）		
目標値	R８	R９	R１０
	35,000 人	35,000 人	35,000 人

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	35,000 人	34,500 人	B　目標値の 70%から 100%未満

「ジュビロード活性化プロジェクト」が実施した“軽トラ市で実施してほしい事業案”の来場者投票で 1 位となった「夜軽トラ市」を、市制 20 周年事業として開催した。開催後の来場者アンケートでは、90%近くの方が”また開催してほしい”と回答するなど、大きな反響があった。

また、来場者を飽きさせないよう、「玉野市山林火災復興支援ブース」「輪島市復興支援ブース」「母の日特別企画コースターワークショップ」「にんげん広場（休憩エリア）」等、本部イベントを多く打ち出すとともに、ジュビロード沿いの商店主も軽トラ市に併せて出店するなどしたが、年間通して 1 番来場者数が多い 12 月が荒天のため、実績値が伸びなかった。

基本施策 5　ブランド力の強化とシティプロモーションの推進

施 策 の 内 容

⑴ **情報発信力とブランド力の強化を図ります**
⑵ **イメージキャラクターの活用を促進します**

実 施 計 画 事 業

No	16	未来と仕事の安心	総合戦略
事 業 名	**シティプロモーション推進事業**		
事業概要	メディアや SNS 等による情報発信や人材を生かした磐田の魅力発信により、市民をはじめとする多くの方に磐田市のことを PR する。		
担当課名	広報広聴・シティプロモーション課	概算事業費（千円）	158,015
事業内容	R８	R９	R１０
	磐田市情報館の管理運営 テレビ CMやラジオ、アニメーション等を活用したPRの実施 動画･SNSを活用した市の魅力発信		
指標	磐田市情報館来場者数（人）		
目標値	R８	R９	R１０
	500,000 人	500,000 人	500,000 人

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	500,000 人	436,000 人	B　目標値の 70%から 100%未満

SNS・テレビ・ラジオなど様々な媒体を通じ、写真や動画による広報を行うと共に、市内外に市の魅力を発信した。インスタグラムフォロワー数は順調に伸び 12,000 人を超えた。
R7 年度はシーサイドドリームフェスの告知等で来場者が微増したが、大幅な増加には至らなかった。
R8 年度は情報館主催「磐田市のことをもっと知って、楽しんでいただく」事業を企画・実施することで、来場者数の増加に努める。

No	17	未来と仕事の安心	総合戦略

事 業 名	**イメージキャラクター推進事業**		
事業概要	市のイメージキャラクター「しっぺい」が市民に長く愛され続けられるよう、市内のイベントを中心に市内外へ活動を展開することにより、「しっぺい」とともに磐田市を全国にＰＲする。		
担当課名	観光政策課	概算事業費（千円）	8,644

事業内容	Ｒ８	Ｒ９	Ｒ１０
			
	市民に愛され親しまれるための活動 市外･県外での磐田市の PR 活動		

指標	デザイン許諾契約件数		
目標値	Ｒ８	Ｒ９	Ｒ１０
	340 件	340 件	340 件

実績 （Ｒ７）	目標値	実績値	評　価
	340 件	367 件	A　目標値以上

デザイン許諾契約件数は目標値を上回る 367 件となり、事業者の利用促進において着実な成果が得られている。

地域イベントや県外イベント、庁内貸出を含めて年間 194 件のイベントへ出演を果たした。特に、1 月 18 日には、市制 20 周年を記念し、「しっぺい大感謝祭」をららぽーと磐田で開催。コロナ禍以降初の開催となったが、関東圏を含む県内外から約 1,500 人の来場を記録した。

今後は、市内の認知度獲得を目指すフェーズから人気の維持及び市外への広報強化を目指すフェーズであると捉え、ブランド力のあるキャラクターとの連携や活動の情報発信に力を入れていく。

基本施策 6　移住･定住の推進

施 策 の 内 容

⑴ **移住･定住を支援します**
⑵ **UIJターン就職を促進します**

実 施 計 画 事 業

No	18	未来と仕事の安心	総合戦略

事 業 名	**移住・定住促進事業**		
事業概要	大都市圏からの移住（ＵＩＪターン）を促進するために、補助金の交付及び本市の魅力を発信するセミナーの開催や、先輩移住者との交流を内容とした移住体験ツアー等を開催する。		
担当課名	政策推進課	概算事業費（千円）	35,859
事業内容	Ｒ８	Ｒ９	Ｒ１０
	→	→	→
	移住就業支援金の支給 移住体験ツアーの開催 移住セミナーの開催 先輩移住者と協力体制構築 移住定住施策拡充に関する調査研究		
指標	移住者数		
目標値	Ｒ８	Ｒ９	Ｒ１０
	80 人	90 人	100 人

実績（Ｒ７）	目標値	実績値	評　価
	70 人	49 人	B　目標値の 70%から 100%未満

県主催の首都圏移住相談イベントへの参加やジュビロ磐田と連携した移住体験ツアーを開催するとともに、R8 年 2 月に移住コーディネーター1 名を設置し、移住希望者に向けた情報発信や移住相談の体制を強化した。

今後は移住コーディネーターと連携し、事業の改善及び移住希望者へ細やかな支援を行うため、新たな情報発信機会の創出や市内案内、お試し移住などの実装に向けた調整を行う。

No	19		未来と仕事の安心	
事 業 名	**地域おこし協力隊活用事業**			
事業概要	都市部から本市へ移住した人材を地域の課題解決や活性化のための活動の担い手として受け入れる。地域協力活動を通して、隊員の本市への定住・定着を図る。			
担当課名	政策推進課	概算事業費（千円）	240,305	
事業内容	R８	R９	R１０	
	新規隊員の募集、既存隊員の活動支援			
指標	地域おこし協力隊人数（延べ人数）			
目標値	R８	R９	R１０	
	13 人	17 人	20 人	
実績（R７）	目標値	実績値	評　価	
	7 人	8 人	A　目標値以上	
	地域おこし協力隊員が 6 名増員したことにより、隊員同士が連携した取組を実施するなど活動を広げることができた。 今後は市内での認知度の向上や隊員の定住、起業に向けた支援に取り組む。			

No	20		未来と仕事の安心	総合戦略
事 業 名	**Ｕターン促進奨学金返済支援事業**			
事業概要	Ｕターンを促進することにより定住人口の増加を図るため、大学進学のために県外へ転出し、就労のために本市に転入した若者に対し、奨学金の返済の一部を補助する。			
担当課名	産業政策課	概算事業費（千円）	36,021	
事業内容	R８	R９	R１０	
	Ｕターン促進奨学金返済支援補助金の交付			
指標	補助金申請件数			
目標値	R８	R９	R１０	
	140 件	140 件	140 件	
実績（R７）	目標値	実績値	評　価	
	140 件	98 件	B　目標値の 70%から 100%未満	
	Ｕターン促進に関する窓口を一本化し、就職フェアや就職説明会等のイベントを実施する際に、奨学金返済支援に関する PR を併せて行った。また、電子申請による受付を開始したことで利用者の利便性に繋がった。 今後も、さらなる周知に努め、制度の促進につなげる取組を行っていく。			

分野 2

自治・スポーツ・文化・歴史・共生

実 施 計 画 事 業

基本施策 1　コミュニティと市民活動の活性化

施 策 の 内 容

⑴ **自治会活動への支援を行います**
⑵ **地域づくり協議会を中心とした地域活動の支援を行います**
⑶ **市民活動団体の育成と協働を進めます**

実 施 計 画 事 業

No	21	暮らしと健康の安心	総合戦略

事 業 名	**自治会・自治会連合会支援事業**		
事業概要	地域活動の活性化を目的とし、地域が連携して誰もが住みよいまちづくりの基盤となる自治会活動への支援を行う。		
担当課名	自治デザイン課	概算事業費（千円）	470,562
事業内容	R８	R９	R１０
	自治会運営費交付金の交付		
指標	自治会加入世帯数		
目標値	R８	R９	R１０
	56,000 世帯を維持	56,000 世帯を維持	56,000 世帯を維持

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	56,000 世帯を維持	57,667 世帯	A　目標値以上

自治会の加入世帯の減少の要因が、自治会加入により、自治会長などの役員の負担が大きいことがあげられるため、役員業務を簡略化するための LINE オープンチャットを活用した電子回覧板の活用方法についての自治会長研修会を 2 回実施した。また、防災にかかる視察研修会を実施し、地域ぐるみでの安心安全への意識を高めることの活動の重要性について啓発した。

今後も、自治会の役割の明確化や役員業務の簡略化などを支援していく。

No	22	暮らしと健康の安心	総合戦略

事業名	小規模多機能自治推進事業（地域づくり応援一括交付金の交付）		
事業概要	自治会などの基礎的コミュニティより広範囲の概ね小学校区域等において、その区域内に住み、又は活動する個人、地縁型・属性型・目的型などのあらゆる団体等により構成された地域共同体が、地域実情及び地域課題に応じて行う住民の福祉を増進するための取組に対して支援を行う。		
担当課名	自治デザイン課	概算事業費（千円）	362,498
事業内容	R８	R９	R１０
	地域課題の解決や特色を生かした魅力ある地域づくりを行う地域づくり協議会に対して一括交付金を交付する		
指標	中学生以上全住民アンケートの実施（単位：地区数）		
目標値	R８	R９	R１０
	２地区	２地区	２地区

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	２地区	０地区	C　目標値の 70%未満
	R7 年度は中学生以上全住民アンケートを実施した協議会はなかったが、過去に実施した協議会などが参加した地域デザインカレッジ磐田を開講し、地域住民だけでは解決が難しかった課題解決策の具体的な実行を支援した。 今後も、地域の課題を地域自らが解決する自治を促しながら、一括交付金制度の他に、中学生以上全住民アンケートの実施や、地域デザインカレッジを開催するなどして、地域の自治を支援していく。		

No	23	暮らしと健康の安心	総合戦略

事業名	コミュニティ施設整備費補助事業		
事業概要	自治会活動で活用する公会堂等の新築・改修や掲示板、資機材倉庫等の整備事業を支援することで、地域コミュニティの振興を図る。		
担当課名	自治デザイン課	概算事業費（千円）	105,385
事業内容	R８	R９	R１０
	コミュニティ施設整備費補助金（建築、改修、改造、耐震化及び掲示板の整備）の交付		
指標	補助金交付件数		
目標値	R８	R９	R１０
	21 件	21 件	21 件

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	21 件	26 件	A　目標値以上
	R7 年度の補助金交付件数 26 件の内、自治会公会堂等整備は 17 件（新築 2 件、改造 4 件、改修 10 件、耐震補強 1 件）、自治会掲示板整備は 7 件、一般コミュニティ助成及びコミュニティ助成はそれぞれ 1 件実施した。 R8 年度以降も引き続き補助金制度の周知に努め、コミュニティ施設の長寿命化を支援する。		

基本施策 2　スポーツの振興

施 策 の 内 容

(1) **スポーツ機会の充実を図ります**
(2) **スポーツのまちづくりを推進します**
(3) **スポーツ施設の整備を進めます**

実 施 計 画 事 業

No	24	暮らしと健康の安心	総合戦略

事 業 名	**市民スポーツ活動支援事業**		
事業概要	スポーツ推進委員やスポーツ協会などと協力し、市民スポーツ活動を推進するとともに、企業や大学と連携してスポーツ資源を活用した事業の実施を目指す。		
担当課名	スポーツのまち推進課	概算事業費（千円）	163,410
事業内容	R８	R９	R１０
	→	→	→
	各種スポーツ大会･教室･スポーツイベントの開催 全国大会出場賞賜金の支払い スポーツ協会補助金の交付 ほか		
指標	スポーツ推進委員の地域等への講師派遣の回数（回）		
目標値	R８	R９	R１０
	45 回	45 回	45 回

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	45 回	34 回	B　目標値 70%から 100%未満
	親子の定期的な運動機会を設けることで、こどもだけでなく親世代をターゲットにしたイベントとすることができた。運動教室に合わせて、ベジチェックの実施など健康増進の視点も入れたイベントにしていくことができた。 今後は、健康増進分野の視点を入れていきたい。		

No	25	子どもたちの安心	総合戦略

事 業 名	**ホームタウン推進事業**		
事業概要	ジュビロ磐田や静岡ブルーレヴズをはじめとするプロスポーツチーム等と様々な応援事業を展開し、スポーツのまちづくりを推進する。		
担当課名	スポーツのまち推進課	概算事業費（千円）	93,936
事業内容	R８	R９	R１０
	ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦事業 静岡ブルーレヴズホームゲーム中学生一斉観戦事業		
指標	一斉観戦実施後の児童・生徒アンケートで「磐田市を以前より好きになった」の回答割合（%）		
目標値	R８	R９	R１０
	75%	75%	75%

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	75%	77%	A　目標値以上

一斉観戦当日のイベントだけでなく、応援給食やサポータによる応援指導などを実施することで、イベントに至る過程も含めてホームタウンである磐田市を好きになる取り組みができた。
今後は、一斉観戦事業だけでなくホームタウンチームと絡めた取組を実施していきたい。

No	26	暮らしと健康の安心	

事 業 名	**スポーツ施設整備事業**		
事業概要	市民が安心してスポーツを楽しむ環境づくりを進めるため、既存のスポーツ施設の計画的な改修・修繕を行う。		
担当課名	スポーツのまち推進課	概算事業費（千円）	1,572,040
事業内容	R８	R９	R１０
	各種改修工事 社会体育施設LED化改修 体育館床等改修 ほか	各種改修工事 社会体育施設LED化改修 ほか	各種改修工事 社会体育施設LED化改修 テニスコート張替工事 ほか
指標	各種改修工事の完工（%）		
目標値	R８	R９	R１０
	100%	100%	100%

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	100%	100%	A　目標値以上

経年劣化が進んだ施設や設備の修繕及び工事を実施し、利用者の安全性の確保に努めた。
今後も引き続き経年劣化、利便性の向上及び予防保全に対する改修をスポーツ施設の再編とともに行っていく。

No	27		未来と仕事の安心	
事 業 名	**スポーツプラットフォーム推進事業**			
事業概要	スポーツの持つ力を生かし地域課題、社会課題の解決に取り組むことにより、スポーツを核にしたまちづくりを実施するため、自治体、スポーツチーム、企業、金融機関、大学、スポーツ関係団体などが情報を共有し、連携する機会として、「いわたスポーツプラットフォーム」を設置する。			
担当課名	スポーツのまち推進課	概算事業費（千円）	4,116	
事業内容	R８	R９	R１０	
	「いわたスポーツプラットフォーム」を運営し、プロジェクトによる事業を実施する			
指標	参加会員の満足度（%）			
目標値	R８	R９	R１０	
	70%	80%	85%	
実績（R７）	目標値	実績値	評　価	
	60%	44%	B　目標値の 70%から 100%未満	
	会員の増加に重点を置き、計 5 回の集会を開催して、延べ 118 社 163 人が参加し、会員団体数は、R6 年度末と R7 年度末を比較して、約 60 社増となる 90 社が登録した。 一方で、具体的な事業に発展することが少なかったことから、今後は会員のニーズ収集とマッチングを支援するなど「つながり」を生み出すことに重点を置き、新たな事業の創出を図る。			

No	28		未来と仕事の安心	
事 業 名	**スポーツ施設再編整備事業**			
事業概要	持続可能なスポーツ施設の維持・整備を行うため、スポーツ施設再編整備に係る調査検討を行う。			
担当課名	スポーツのまち推進課	概算事業費（千円）	16,811	
事業内容	R８	R９	R１０	
	スポーツ施設再編方針の検討			
指標	各年度計画の達成率（%）			
目標値	R８	R９	R１０	
	100%	100%	100%	
実績（R７）	目標値	実績値	評　価	
	100%	100%	A　目標値以上	
	部局横断で招集した「若手職員まちづくりプロジェクト」を立ち上げ、御厨駅周辺におけるスポーツを核としたまちづくり像をまとめた。また、スポーツを核としたまちづくりを進める上での各課の課題や事業スケジュールの整理を行った。 今後は、国や県などの関係機関との協議を行うための資料作りを進めることに加え、部局横断のプロジェクトによるまちづくりの意義や価値、方向性をまとめていく。			

基本施策 3　文化の振興と歴史遺産の整備、活用

施 策 の 内 容

⑴ **文化芸術活動の育成と支援を行います**
⑵ **文化・芸術に触れる機会の充実を図ります**
⑶ **文化施設の整備・充実を図ります**
⑷ **文化財の保全・整備・活用を進めます**

実 施 計 画 事 業

No	29	子どもたちの安心	総合戦略

事業名	青少年文化芸術活動育成支援事業		
事業概要	青少年の文化芸術に対する活動の育成支援を行う。		
担当課名	文化振興課	概算事業費（千円）	58,777

	R８	R９	R１０
事業内容	高校演劇クリニックの実施 吹奏楽公開クリニックの実施 器楽指導者派遣事業の実施 こどもミュージカルの育成･修了公演 こども3バンドへの支援	高校演劇クリニックの実施 吹奏楽公開クリニックの実施 器楽指導者派遣事業の実施 こどもミュージカルの育成 こども3バンドへの支援	高校演劇クリニックの実施 吹奏楽公開クリニックの実施 器楽指導者派遣事業の実施 こどもミュージカルの育成･修了公演 こども3バンドへの支援
指標	磐田こどもミュージカル及びこども３バンドの団員数		
目標値	R８	R９	R１０
	180 人	180 人	180 人

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	180 人	168 人	B　目標値の 70%から 100%未満
	磐田こどもミュージカル第 15 期生の育成のほか、こども 3 バンドのうち磐田ジュニアマーチングバンドについて、昨年度に引き続き全国大会へ出場することができた。 団員数は前年度より増加したが、練習場所の確保などの課題がある。また、学校部活動の地域展開に合わせて、器楽指導者派遣事業及び吹奏楽公開クリニック事業の見直しを進める必要がある。		

No	30	暮らしと健康の安心	
事業名	**文化芸術活動支援振興事業**（文化芸術活動支援事業・文化芸術振興事業）		
事業概要	地域の文化芸術活動の育成等を図るため、文化協会への芸術祭の委託や、文化協会の活動に対し補助を行う。また、公益的な文化振興事業等を実施する文化振興会の活動に対して補助を行う。		
担当課名	文化振興課	概算事業費（千円）	142,007

	R８	R９	R１０
事業内容	文芸磐田の発行　・芸術祭等実施委託 磐田市文化協会への補助　・磐田文化振興会への補助 第３次磐田市文化芸術振興計画の策定 「みんなのギャラリー」の企画･運営 文化ゾーンでのにぎわいづくり試行実施	→	文芸磐田の発行、芸術祭等実施委託、磐田市文化協会への補助、磐田文化振興会への補助、「みんなのギャラリー」の企画・運営、文化ゾーンでのにぎわいづくり試行実施
指標	磐田市芸術祭及び文化振興会事業の集客数		
目標値	37,000 人	37,000 人	37,000 人

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	37,000 人	31,855 人	B　目標値の 70%から 100%未満

「ほんもの」の公演と集客の相乗効果により、多くの市民に文化芸術を創造・鑑賞・体験する機会を提供することができた。また、市民の創作活動を支援し、世代を超えた新たな交流の生まれる場として、文化ゾーンの新たな拠点となる展示室「みんなのギャラリー」の改修工事が完了した。

今後は様々な関係者と対話し、「みんなのギャラリー」の事業展開を検討するとともに、文化ゾーン活性化方針に基づき、関係部署と連携を強化し、文化団体だけでなく経済団体や市民団体と共創に向けた対話を進め、にぎわい創出に繋がる取組を進める必要がある。

No	31	暮らしと健康の安心	
事業名	**遠江国分寺跡整備事業**		
事業概要	特別史跡・遠江国分寺跡の再整備として、平成 28 年度に策定した整備基本計画に基づき、主要建物の基壇や燈籠の復元、四阿やトイレの設置などを行う。		
担当課名	文化財課	概算事業費（千円）	480,264

	R８	R９	R１０
事業内容	四阿・サイン・照明・植栽工事 燈籠再現用材料調達 実施設計（築地塀） 基本設計（トイレ）	南大門基壇、築地塀・サイン・照明・植栽工事 燈籠部材加工 実施設計（トイレ）	サイン・照明・植栽工事 燈籠設置工事 トイレ兼展示スペース工事
指標	整備施設数（件）		
目標値	3 件	1 件	2 件

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	2 件	0 件	C　（R8 へ繰越、R8.9.25 には工事完了予定）

R7 は中門・回廊基壇の整備工事に着手したが、回廊基壇に使用する木材の調達が計画より遅れたことにより、工事完了が R8 に繰越しとなった。R8 以降は、木製燈籠の製作や四阿・トイレ兼展示スペースといった便益施設の整備を進め、R11 年度事業完了を目指す。

基本施策 4　学習機会の充実

施 策 の 内 容

⑴ **生涯学習活動を推進します**
⑵ **図書館の充実を図ります**
⑶ **大学を活用した学びの場を提供します**

実 施 計 画 事 業

No	32		暮らしと健康の安心	
事 業 名	**図書館資料整備事業**			
事業概要	図書館活動の中心として、最新の資料を取り揃え利用者へ提供するとともに、要望に応えながら図書館資料の充実を図る。また、市民の調査研究・学習機会に役立てるため、各種資料を収集・保存し、図書館としての役割を担う。			
担当課名	中央図書館	概算事業費（千円）	71,547	
事業内容	R８	R９	R１０	
				
	地域資料の保存(デジタル化) 図書資料･電子書籍(学校連携用含む)の購入			
指標	市民１人当たりの年間貸出数（件）			
目標値	R８	R９	R１０	
	８件	８件	８件	
実績 (R７)	目標値	実績値	評　価	
	８件	７件	B　目標値の 70%から 100%未満	
	ＩＣタグシステムを活用して蔵書の適正な管理・運用を実現するとともに、利用者の学習機会に役立つ資料提供を実施した。 図書館システム（ＩＣタグシステム含む）の機能をさらに活用し、業務の効率化や更なる利用者サービスの向上に努めるとともに、電子書籍（学校連携）サービスの推進と、地域資料の電子化を継続推進し、デジタルアーカイブの拡充を図る。			

基本施策 5　共生社会の確立

施 策 の 内 容

⑴ **人権意識の啓発を行います**
⑵ **多文化共生、国際理解、国際交流を推進します**
⑶ **男女共同参画を推進します**

実 施 計 画 事 業

No	33		暮らしと健康の安心	
事 業 名	**多文化共生推進事業**			
事業概要	多文化共生社会の実現を目指し、第４次磐田市多文化共生推進プランに基づき、多文化共生推進施策を総合的かつ計画的に推進する。			
担当課名	自治デザイン課	概算事業費（千円）	196,854	
事業内容	R８	R９	R１０	
	→	→	→	
	プランの進行管理 多文化交流センターの運営委託 外国人情報窓口の運営委託 日本語教室の運営委託 外国人支援団体への補助			
指標	日本語教室における昇級者数（人）			
目標値	R８	R９	R１０	
	40 人	40 人	40 人	

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	40 人	8 人	C　目標値の 70%未満

第 4 次磐田市多文化共生推進プランに基づき、取組みを企画し実施した。
外国人情報窓口においては、10 月からベトナム人相談者を常駐配置とし、対応の充実を図るとともに、積極的な Facebook による情報発信で、問い合わせ件数の減少につなげた。
テレビ de 通訳機の自治会向け貸出は、利用件数が伸び悩んでいるため、サービスの周知に加え、スマートフォンの翻訳アプリとやさしい日本語を組み合わせたコミュニケーション方法の周知もしていきたい。
日本語教室は、市の委託事業として 4 年経過し、複数年の連続受講者が多く、既存参加者の日本語レベル判定が頭打ちとなっている。新規受講者の獲得だけではなく、事業の検証、教室の再配置の検討を行いたい。

No	34	暮らしと健康の安心	総合戦略

事業名	男女共同参画推進事業		
事業概要	磐田市男女共同参画推進条例・第３次男女共同参画プランに基づき、男女共同参画推進施策を総合的かつ計画的に推進する。		
担当課名	自治デザイン課	概算事業費（千円）	2,495

事業内容	R８	R９	R１０
	プランの進行管理 研修・講演会等の実施 地域や企業への啓発活動 自治会や企業連携による事業の実施		

指標	市の審議会等委員の女性割合（%）		
目標値	R８	R９	R１０
	35%	35%	35%

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	34%	29.5%	B　目標値の 70%から 100%未満

第 3 次男女共同参画プランの施策に基づき取り組みを企画し実施した。
6 月の男女共同参画週間には「性別による固定的役割分担意識の改善」「アンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）」について本庁や中央図書館で展示を実施。性の多様性については親子向け夏休み講座を開催した。
また、審議会等の委員選任における女性及び公募委員の積極的登用についての通知を全庁に発出したが、審議会等委員の女性の割合は、目標値 35%のところ、依然として２割台後半にとどまっている。
今後も、「性別による固定的役割分担意識の改善」「性の多様性」等への啓発を継続して実施することに加え、R7 年度末から参加した、「地域・働き方職場改革ネットワーク」（内閣官房主導）を活用し、若者や女性が自分らしく活躍できる環境整備に向けた取り組みを推進していきたい。

分野 3　子育て・教育

実 施 計 画 事 業

基本施策 1　子ども・子育て支援の充実

施 策 の 内 容

⑴ **子育て相談体制の充実を図ります**
⑵ **多様な子育てサービスの充実を図ります**
⑶ **幼児教育・保育環境の充実を図ります**
⑷ **支援を必要とする子どもや保護者を支える体制を整備します**
⑸ **子どもの発達支援ネットワークを構築します**

実 施 計 画 事 業

No	35	子どもたちの安心	総合戦略

事 業 名	**子育て支援推進事業** （子育て支援センター運営事業・ｉぽーと推進事業・育児家事サポート事業・児童福祉事務・ひとり親家庭子育てサポート事業）		
事業概要	子育てに関する相談や支援、情報提供を通じて子育ての不安を軽減し、安心して子育てができる環境づくりを推進する。		
担当課名	こども未来課 こども若者家庭センター	概算事業費（千円）	623,119
事業内容	R８	R９	R１０
	→	→	→
	子育て支援センターの運営、母子健康手帳発行、産後ケア事業実施、 育児サポーターの派遣、子育て情報サイト・アプリの運営、 子育て世代包括支援センターの運営、低所得の妊婦に対する初回産科受診料の補助		
指標	子育てアプリの登録者数（人）		
目標値	R８	R９	R１０
	5,700 人	5,700 人	5,700 人

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	5,700 人	5,320 人	B　目標値の 70%から 100%未満
	子育て支援センターでは、延べ76,837名の利用があり、子育ての不安感等を緩和し、こどもの健やかな育ちを支援した。今後も、各支援センターの特色を生かし、利用者に寄り添った支援を継続していく。 産後ケアは延べ174件の利用で、母親の身体的回復や心理的な安定の促進を支援した。また、家事支援ヘルパーは延べ549件の利用があり、子育て世帯の家事負担の軽減を行うことができた。		

No	36	子どもたちの安心	総合戦略

事 業 名	**児童虐待防止事業**		
事業概要	こども若者家庭センターにおいて、心配なこどもや家庭に関する情報収集・対応・支援を行うとともに、関係機関と要保護児童等対策協議会において情報共有による連携を図ることで、児童虐待の早期発見・早期対応に努める。		
担当課名	こども若者家庭センター	概算事業費（千円）	27,084

事業内容	R８	R９	R１０
	→	→	→
	要保護児童等対策協議会の開催、啓発活動 こどもとその家庭及び妊産婦等を対象に、実情の把握、 こども等に関する相談全般から継続的なソーシャルワーク（相談）業務		

指標	こども若者家庭センターにおける児童福祉の相談・対応件数（件）		

目標値	R８	R９	R１０
	350 件	350 件	350 件

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	350 件	431 件	A　目標値以上

R7 年度は 431 件の対応を行ったが、相談内容は多様化、複雑化している。児童福祉と母子保健の一体的な相談支援体制の整備を進め、相談対応を行うとともに、ショートステイの適正利用や家事支援（養育支援）の利用促進を図る。

No	37	子どもたちの安心	総合戦略

事 業 名	**ひと・ほんの庭にこっと子育て支援・相談事業**		
事業概要	子育てに関する相談や支援、講座に本の力を加え、より多くの市民がにこっとできるよう、施設の運営を行う。		
担当課名	こども若者家庭センター	概算事業費（千円）	76,281

事業内容	R８	R９	R１０
	→	→	→
	子育て支援を基盤とした相談事業 人づくりを主眼においた講座事業 図書有効利用及び貸出事業		

指標	1 日あたり来館者数（人）		

目標値	R８	R９	R１０
	600 人	600 人	600 人

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	600 人	585 人	B　目標値の 70%から 100%未満

心理士など専門職による相談や講座の開催により、子育て情報を提供するとともに、親子の交流イベントを積極的に実施したが、2 階の改修工事により 3 週間程度休館したため来館者数が減少した。
今後は 2 階に新設されたギャラリーを活用した取組を進めたい。

No	38	子どもたちの安心	総合戦略

事業名	こども医療費助成事業		
事業概要	医療費助成により、疾病の早期発見、早期治療を促進し、疾病の慢性化の予防と保護者の経済的負担の軽減を図る。		
担当課名	こども未来課	概算事業費（千円）	2,912,691

事業内容	R８	R９	R１０
	→	→	→
	乳幼児から高校生年代までの入院･通院に係る医療費の助成		

指標	助成対象の受診件数（給付件数）		
目標値	R８	R９	R１０
	364,600 件	364,600 件	364,600 件

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	364,600 件	347,449 件	B　目標値の 70%から 100%未満

347,449 件、928,326,975 円の助成金を交付。子育て世帯の医療費を助成することで、こどもの疾病の早期発見・早期治療の促進に繋げた。
県外受診等の現物給付化を目指す動きがみられるため、国及び他市町の動向を注視していく。

No	39	子どもたちの安心	

事業名	不妊治療費助成事業		
事業概要	保険診療と併用して実施した先進医療にかかる不妊治療費に加え、R６より保険適用分にかかる費用の一部を助成することで不妊治療を受けた方の経済的負担を軽減する。		
担当課名	こども若者家庭センター	概算事業費（千円）	74,412

事業内容	R８	R９	R１０
	→	→	→
	保険適用及び、先進医療の不妊治療に対する助成		

指標	助成件数		
目標値	R８	R９	R１０
	300 件	300 件	300 件

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	300 件	300 件	A　目標値以上

昨年度同様申請の相談件数や申請者数が増加している。申請方法はチラシを活用し制度理解を求めたり、申請者自身にも申請書類が分かるようチェックリストを配布し、短時間での申請手続きに努めている。今後も申請者の負担が軽減できるよう検討する。

No	40		子どもたちの安心	
事 業 名	**新中学生応援事業**			
事業概要	中学校入学を迎える児童の門出を応援するとともに、子育てをする家庭の経済的負担の軽減及び子育て支援の充実を図る。			
担当課名	こども若者家庭センター	概算事業費（千円）	137,967	
事業内容	R８	R９	R１０	
	応援の気持ち(メッセージ)のお届け 中学に入学する際の制服等準備に係る経費を補助(入学前の小学６年時)			
指標	新中学生応援商品券申請割合			
目標値	R８	R９	R１０	
	99%	99%	99%	
実績 (R７)	目標値	実績値	評　価	
	99%	99%	A　目標値以上	
	申請は目標値を上回り、電子申請によりスムーズな対応ができた。 商品券の直接受取が対象者の負担になっているため、商品券の電子化等、手続きの見直しを検討する。			

No	41	子どもたちの安心	総合戦略

事業名	**幼児教育・保育推進事業** （幼児教育･保育の質の向上、多様な保育ニーズに対応した支援の拡充、発達支援の充実、環境整備と職員体制の充実）		
事業概要	幼児教育・保育の更なる質の向上を図るとともに、多様な保育ニーズに対応した支援を拡充するための体制整備を推進する。		
担当課名	幼児教育保育課	概算事業費（千円）	28,969

	R８	R９	R１０
事業内容	第2期幼児教育･保育推進計画（第4期再編計画）の策定 公私立園の連携強化 職員研修の充実 保育サービスの充実、支援強化 保育士確保策の充実 職場環境の充実 公立園のこども園化に向けた調整	→	第2期幼児教育･保育推進計画（第4期再編計画）の推進と周知 公私立園の連携強化、職員研修の充実 保育サービスの充実、支援強化 保育士確保策の充実、職場環境の充実、公立園の再編
指標	保護者アンケートによる「市の幼児教育・保育施策に対する満足度」（%）		
目標値	R８	R９	R１０
	80%	80%	80%

目標値	実績値	評　価
80%	82%	A　目標値以上

実績（R７）

幼児教育・保育推進計画に基づいて、幼児教育・保育の推進を図った。

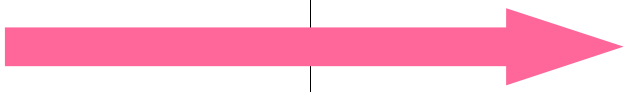
園運営支援システム「コドモン」を更に活用するため、必要なLGWAN無線化整備を2園で実施し、公立園全園の整備を完了した。

また、4市1町（磐田、掛川、菊川、袋井、森）連携事業として保育士等キャリアアップ研修を実施した。近隣市町と連携することで、多くの職員が共に学び合う場となり、公私立間、他市町間の職員交流も図ることができた。

今後は、園現場での更なるデジタルツールの活用、私立園を含めた研修や交流、キャリアアップ支援による保育の質向上と保育士の処遇改善のほか、多様な個性や特性を有するこども達の主体的な育ちのための体制強化などに取り組む。

No	42	子どもたちの安心	総合戦略

事業名	認可園施設整備事業		
事業概要	待機児童を解消するため、老朽化した公立園の再編や再築、改修を進めるとともに、民間認可保育所等の建設費や償還金の一部を補助することによる保育環境整備、運営法人の経営の健全化を図る。		
担当課名	幼児教育保育課	概算事業費（千円）	965,542

事業内容	R８	R９	R１０
	豊田北部幼稚園解体し園庭外溝整備に向けた運営法人との調整及び補助 豊田北保育園解体工事 幼児教育・保育推進計画の実施方針における取り組み 公立園のこども園化に向けた施設整備 公立園の環境整備 保育所施設等整備事業に係る借入金の元利償還金の助成	 幼児教育･保育推進計画の実施方針における取り組み 公立園のこども園化に向けた施設整備 公立園の環境整備 保育所施設等整備事業に係る借入金の元利償還金の助成 民間幼稚園のこども園化向けた施設整備に対する補助(R9～10)	

指標	各年度計画の達成率（%）		
目標値	R８	R９	R１０
	100%	100%	100%

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	100%	100%	A　目標値以上

公立幼稚園保育園等の環境整備については、計８園の空調機設置工事を行い、夏場の環境改善を進めるとともに、ＬＧＷＡＮ無線化工事や老朽化している施設の不具合箇所への必要な修繕を実施するなど保育環境の改善を進めた。

公立幼稚園の再築、再編については、豊田北部幼稚園及び豊田北保育園の民設民営化にともなう幼保連携型認定こども園イーリスプレスクールの新園舎建築し、R8 年４月に開園した。R8 年度は、豊田北部幼稚園の解体及び外溝工事が行われるため引き続き支援をする。

民間認可保育園施設等整備事業償還金補助については、補助申請に対し、適切に事務を執行した。

No	43	子どもたちの安心	総合戦略

事業名	**発達障害等支援事業**		
事業概要	発達の遅れや療育の課題があるとされた児童及び保護者に対して、必要な支援を行うとともに、職員等関係者の資質向上や発達支援の普及啓発を図る。 民間の保育所、こども園等が、心身に障がいを有する児童の教育及び保育の充実のために配置する職員に係る費用の一部を補助する。		
担当課名	こども未来課 幼児教育保育課	概算事業費（千円）	246,318

	R８	R９	R１０
事業内容	→	→	→
	磐田市発達支援センターの運営 支援者研修 親教育講座 啓発事業 障がい児等在園の民間の保育園、こども園等への支援		
指標	発達支援等事業相談件数（件）※こども未来		
目標値	500 件	500 件	500 件

目標値	実績値	評　価
500 件	590 件	A　目標値以上

実績（R７）

R7 年度からは発達支援研修会の対象を拡大し、従来の園に加えて児童発達支援事業所も参加した。地域全体で一貫した支援アプローチの共有、支援の質の向上、事業所間の情報交換や連携強化を図っていく。

民間の保育所、認定こども園等に対し、心身に障がいを有する児童の教育及び保育の充実のための費用の一部を補助した。今後も継続し保育環境の充実を図る。

基本施策 2　特色ある教育の推進

施 策 の 内 容

⑴ **新時代の新たな学校づくりを推進します**
⑵ **「個」に応じたきめ細かな支援・指導の充実を図ります**
⑶ **学校給食の充実を図ります**
⑷ **児童生徒の安全・安心対策を推進します**
⑸ **体験を重視する教育を推進します**

実 施 計 画 事 業

No	44	子どもたちの安心	総合戦略

事 業 名	**小中学校コンピュータ教育推進事業**		
事業概要	学校の情報環境を整備する中で児童・生徒の情報活用能力及び情報モラルの育成とコンピュータを活用することによる、わかる楽しい授業の推進、そして教職員の校務処理の効率化を図り教育の情報化を進める。		
担当課名	学校教育課	概算事業費（千円）	378,882
事業内容	R8	R９	R１０
	→	→	→
		校務用PC 更新 ネットワーク機器修繕 アクセスポイント交換 ネットワーク運用支援業務委託 教育用 PC 等賃貸借 電子連絡網システム	
指標	コンピュータ教育研究委員会の開催		
目標値	R８	R９	R１０
	2 回	2 回	2 回

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	2 回	3 回	A　目標値以上
	年間 3 回の研修会では、各学校において児童生徒における情報活用能力の向上およびより分かる授業となるコンピュータ活用及び校務支援について研修だけでなく、校務における生成 AI の活用研修を行った。各校では、それぞれ実践事例の蓄積を行い、市内ポータルサイトで情報共有を行った。		

No	45		子どもたちの安心	総合戦略
事 業 名	**向陽学府新たな学校づくり整備事業**			
事業概要	向陽学府小中一体校整備に向け、基本・実施設計等で設計図書を作成し、建設工事を行う。			
担当課名	学校づくり整備課	概算事業費（千円）	1,413,398	
事業内容	R８	R９	R１０	
	解体工事 建設工事 外構工事	（R8 事業完了）	（R8 事業完了）	
指標	Ｒ８年度開校　（R4～R5：設計　R5～Ｒ８：工事）			
目標値	R８	R９	R１０	
	みんなの家完成 スタジオ棟完成 バスロータリー及び駐車場完成	事業完了	事業完了	
実績 （R７）	目標値	実績値	評　価	
	建設工事 （新校舎棟完成）	新校舎棟完成	A　目標値以上	
	R7 年度に新校舎棟が完成し、R8.4 開校した。 R8 年度中に付属棟改修工事の実施や駐車場等の整備を行うとともに、今後のスクールバス運行のあり方を検討していく。			

No	46※新規		子どもたちの安心	総合戦略
事 業 名	**はまぼう学府新たな学校づくり整備事業**			
事業概要	はまぼう学府小中一体校整備に向け、基本構想を策定し、基本・実施設計、建設工事に向けた事業を進める。			
担当課名	学校づくり整備課	概算事業費（千円）	20,527	
事業内容	R８	R９	R１０	
	検討会設置 基本構想策定業務着手	検討会 基本構想策定業務	検討会（最終年度） 基本構想策定（完了）	
指標	はまぼう学府小中一体校整備			
目標値	R８	R９	R１０	
	基本構想着手	基本構想作成（継続）	基本構想完成	

No	47		子どもたちの安心	総合戦略
事 業 名	**外国語指導助手派遣事業**			
事業概要	小学校では外国語活動、中学校では外国語科授業の支援及び外国語教育施策の推進をするために、市内の小・中学校に外国語指導助手を派遣する。また、幼少時から生きた英語と接する機会を設けるために、幼稚園にもＡＬＴを派遣する。			
担当課名	学校教育課	概算事業費（千円）	29,244	
事業内容	Ｒ８	Ｒ９	Ｒ１０	
	 市内幼稚園･小中学校巡回訪問 直接雇用(小中学校巡回(7h)11 人、小学校巡回(7h)4 人、小学校巡回(4h)1人) 派遣委託業者ALT 2 人 SPEAKとe-SPEAK の実施			
指標	市内 ALT 雇用総数（人）			
目標値	Ｒ８	Ｒ９	Ｒ１０	
	18 人	18 人	18 人	

実績 （Ｒ７）	目標値	実績値	評　価
	18 人	18 人	A　目標値以上

R7 年度においては、市内の全小中学校に巡回配置を行い、小学校 1,2 年生で年間 5 回、3,4 年生で年間 35 時間、5 年生から中学 3 年生で年間 70 時間のチームティーチングを実施した。

また英会話プロジェクトにおいて、市内全小学 6 年生と中学 3 年生を対象に英会話活動を行った。

引き続き、現在の指導量を確保しつつ、研修やミーティングで指導の質の向上を図る。

※SPEAK（Student Practical English Assessment checK の略：「実践的な英会話の評価」を意味する）

No	48	子どもたちの安心	総合戦略

事業名	コミュニティ・スクール推進事業		
事業概要	「地域とともにある学校づくり」を推進するために、学校運営協議会を設置している小中学校を支援する。		
担当課名	学校教育課	概算事業費（千円）	36,520
事業内容	R８ ・学校運営協議会の研修の実施 ・学校の教育課題解決に向けた学校運営協議会の実施 ・コミュニティ・スクール・コーディネーター、コミュニティ・スクール・コーディネーターのICT活用力向上のための研修の実施	R９ ・コミュニティ・スクールに係る研修の実施 ・学校の教育課題解決に向けた学校運営協議会における熟議の実施 ・地域連携室の整備 ・企業研修やゲストティーチャーに係るデータの利活用	R１０
指標	CSD・CSC 連絡会の開催回数		
目標値	R８ ３回	R９ ３回	R１０ ３回

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	３回	３回	A　目標値以上

学校運営協議会における熟議による教育課題の解決に加え、地域課題の解決について校長会で研修を行うとともに、ＣＳ担当者、ＣＳＤ・ＣＳＣを対象とした研修も行った。成果報告からは、各校での充実した取組が見られた。

ＣＳＤ会を毎月１回行い、活動の情報交換をするとともに、ＣＳＣへのサポートや研修会の内容の検討.を行うことができ、研修会を充実させることができた。

R8 年度は、第１回学校運営協議会での動画視聴研修、市主催ＣＳ研修会、県主催ＣＳ研修会に参加をし、委員一人一人の資質向上に取り組んでいく。

※[1]CSD（コミュニティ・スクール ディレクター）

※[2]CSC（コミュニティ・スクール コーディネーター）

No	49		子どもたちの安心	
事 業 名	**小・中学校空調設備整備事業**			
事業概要	小中学校の体育館等への空調設備（エアコン）を設置し、児童生徒の健康保持の増進及び良好な教育環境の実現を目指す。			
担当課名	学校づくり整備課	概算事業費（千円）	1,186,046	
事業内容	R８	R９	R１０	
	学校の体育館に空調設備を設置するための実施設計及び施工 小学校体育館（８校） 中学校体育館（３校）	学校の体育館に空調設備を設置する工事 小学校体育館 10 校	（R9 事業完了）	
指標	特別教室空調設備設置数 ※R８から体育空調設置数			
目標値	R８	R９	R１０	
	体育館空調設置 小学校：９校 中学校：10 校	体育館空調設置 小学校：10 校	事業完了	
実績 （R７）	目標値	実績値	評　価	
	特別教室空調 小学校：８室 中学校：６室	特別教室空調 小学校：８室 中学校：６室 体育館空調 小学校：２校 中学校：７校	A　目標値以上	
	R7 年度にて特別教室空調設備設置計画が完了し、体育館空調設備設置計画へと移行した。体育館空調については、拠点避難所となる中学校の体育館を中心に設置した。			

No	50	子どもたちの安心	総合戦略

事業名	磐田部活推進事業		
事業概要	少子化に伴う部活動改革として、全ての中学生が自分の興味関心に応じて放課後活動を選択できる環境と持続可能な活動を提供することを目的に新たな地域クラブ活動「SPO☆CUL IWATA」を設立し、部活動の地域展開推進を図る		
担当課名	放課後活動課	概算事業費（千円）	215,299

	R８	R９	R１０
事業内容	スポーツ部活（陸上部・ラグビー部）の運営 「SPO☆CUL IWATA」の拡充 部活動の段階的な地域展開の推進 9 月から休日部活動を地域クラブ活動へ完全移行	→ 地域クラブ活動「SPO☆CUL　IWATA」の運営 平日部活動の地域展開の推進	
指標	地域クラブ活動参加者数（人） ※R６までは、外部指導者・部活動指導員配置数（人）		
目標値	R８	R９	R１０
	2,100 人	2,100 人	2,000 人

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	200 人	186 人	B　目標値の 70%から 100%未満

地域クラブ活動「SPO☆CUL　IWATA」については、クラブ数が 17 クラブに増え、活動生徒数も目標値の 200 人に対して 93%の 186 名で活動することができた。今後もさらにクラブ数を拡充し、活動生徒数の増加につなげていく。

R8 年度の休日部活動の地域移行完全実施に向け、学校部活動からの再編型クラブの実施体制の具体を構築していく。

No	51	子どもたちの安心	総合戦略

事業名	小・中学校教育支援員等配置事業		
事業概要	小中学校において、特別に支援を要する児童生徒への対応のために支援員及び介助員を配置することにより、一人一人に応じた教育活動を推進するとともに、学校運営の安定につなげる。		
担当課名	児童生徒支援課(教育総務課)	概算事業費（千円）	601,629

事業内容	R８	R９	R１０
	教育支援員・学校介助員の配置 7時間47名 4時間51名 介助員11名	教育支援員・学校介助員の配置 7時間47名 4時間51名 介助員11名	教育支援員・学校介助員の配置 7時間47名 4時間51名 介助員11名

指標	教育支援員・学校介助員を対象とした研修会開催数		

目標値	R８	R９	R１０
	3回	3回	3回

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	3回	3回	A　目標値以上
	教育支援員の配置により、教室で困り感をもつ子に寄り添って支援を行うことができ、こどもが安心して過ごせた。今後、より支援のスキルを上げる研修を充実させていく。 学校介助員の配置により、補助が必要である子に適切な支援ができ、スムーズに活動することができた。今後も個に合った補助ができるよう、環境を整えていく。		

No	52	子どもたちの安心	総合戦略

事業名	いじめや不登校等に対応する教育相談体制推進事業		
事業概要	校外教育支援センターによる通級・訪問支援及び教育相談の実施、校内教育支援センター相談員の配置、スクールソーシャルワーカーの派遣等によって、教育相談体制の充実を図り、一人一人の複雑化する問題に丁寧に対応できるようにする。		
担当課名	児童生徒支援課	概算事業費（千円）	51,736

事業内容	R８	R９	R１０
	校内教育支援センターの拡充 校外教育支援センターの充実 ネットパトロール実施 相談員、スクールソーシャルワーカーの派遣	スクールソーシャルワーカーの機能充実 校内教育支援センターの拡充(未設置校の開設) 校外教育支援センターの充実 相談員、スクールソーシャルワーカーの派遣	校内教育支援センターの充実（中学校の校内教育支援センター開設時間延長） 校内教育支援センターの充実 相談員、スクールソーシャルワーカーの派遣

指標	1,000人当たりの不登校児童生徒数（人）		

目標値	R８	R９	R１０
	22人	20人	18人

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	35人	34人	A　目標値以上
	不登校児童生徒数は、前年度に比べて減少している。背景には、各校の魅力ある学校づくり、こどもの居場所の多様化等が挙げられる。 今後に向けて、未然防止として各校の取組を横展開したり、困り感を抱えるこども及び保護者を支える体制づくりを進めたり、校内外教育支援センターをさらに充実させたりする等の取組を行っていく。		

No	53		子どもたちの安心	
事 業 名	**小・中学校校舎改修計画**			
事業概要	予防保全と機能向上により、施設の延命化を図る。 ・屋上防水改修（既存防水層撤去処分のうえ、新設） ・トイレの改修（洋式化、乾式化、自動水栓化）			
担当課名	学校づくり整備課	概算事業費（千円）	1,212,367	
事業内容	R８	R９	R１０	
	【屋根防水改修】 磐田中部小、竜洋北小、竜洋中、豊田南中 【トイレ改修】 磐田南小、磐田北小、城山中	【屋根防水改修】 磐田西小、磐田南小、竜洋北小、磐田第一中、神明中	【屋根防水改修】 磐田西小、磐田南小、竜洋西小、磐田第一中、神明中、福田中 【トイレ改修】 南部中 【照明設備 LED 化】 磐田中部小、磐田西小、磐田南小、長野小、磐田第一中、南部中	
指標	【屋根防水改修】改修済み棟数/対象棟数 【トイレ改修】洋式化率(R5 より）			
目標値	R８	R９	R１０	
	【屋根改修】23/66 【トイレ改修】洋式化率 65%	【屋根改修】30/66	【屋根改修】37/66 【トイレ改修】洋式化率 70%	
実績（R７）	目標値	実績値	評　価	
	【屋根改修】18/66 【トイレ改修】洋式化率 60%	【屋根改修】18/66 【トイレ改修】洋式化率 60%	A　目標値以上	
	トイレ改修では洋式化率 60%に到達した。しかし、国庫補助が不採択になる課題があり、補助金獲得に向けたプロセスの修正が必要となった。 また、洋式化率 60%を達成したため、2 巡目の計画について、実施期間や開始時期等に変更をしていく必要があるが、児童・生徒・職員等への環境整備のため、継続して実施が求められる。			

No	54	子どもたちの安心	総合戦略

事 業 名	**平和事業（広島平和記念式典派遣事業）**		
事業概要	戦争・核兵器の恐ろしさ、平和の尊さについての普及啓発を図るとともに、未来を担うこどもたちが、広島平和記念式典（原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式）に参列することで、平和への想いの継承を推進する。		
担当課名	総務課	概算事業費（千円）	8,028
事業内容	R８	R９	R１０
	→	→	→
	平和記念式典へ中学生を派遣 被爆桜の接ぎ木実施		
指標	平和事業参加者の他者への発信の実施率（%）（R8～） 平和記念式典小中学生参加者数（～R7）		
目標値	R８	R９	R１０
	100%	100%	100%

	目標値	実績値	評　価
実績（R７）	33 人	33 人	A　目標値以上
	市内小中学生各１名の体制で平和記念式典へ参加することができた。今後も引き続き、平和記念式典に参加し、平和の尊さ・有り難さを体験する機会を継続していきたい。 また、戦争・被爆体験者は年々減少してしまうことから、本事業を通して体験したことを伝承していく取組に重点を置くことや次世代のリーダーの育成を目的として、R8 年度から派遣者を中学生のみに変更し、平和への想いを多くの市民に発信していく。		

基本施策 3　子ども・若者の健全育成

施策の内容

⑴ **家庭の教育力の向上を図ります**
⑵ **子どもや若者を健やかに育む地域づくりを進めます**
⑶ **高校や大学等との連携した若者の育成を推進します**

実施計画事業

No	55		子どもたちの安心	総合戦略
事業名	**放課後児童クラブ運営事業**			
事業概要	保護者の就労等により昼間家庭で保育できない児童に適切な遊びや生活の場を提供するため、放課後児童クラブ事業の実施と、民間保育所において実施する放課後児童クラブ事業への補助を行う。			
担当課名	放課後活動課	概算事業費（千円）	2,092,977	
事業内容	R８	R９	R１０	
	→	→	→	
	放課後児童クラブの運営 児童クラブの運営方法の検討 民間児童クラブ補助金交付 放課後児童クラブ民間委託			
指標	放課後児童クラブの定員数			
目標値	R８	R９	R１０	
	1,961 人	1,961 人	1,961 人	

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	1,961 人	1,935 人	B　目標値の 70%から 100%未満
	R6 年度にプロポーザルによる業者選定等を実施し、R7 年度から運営委託を開始した。委託により、開所時間の延長や祝日開所などのサービスの充実が図られた。 安全かつ円滑に運営移行するよう、適切に指導・監督するとともに、R8 年度は運営状況の検証を行い、今後の最適な運営手法を検討する。		

No	56	子どもたちの安心	総合戦略

事業名	放課後子供教室推進事業		
事業概要	こどもの放課後の安全安心な活動拠点（居場所）づくり事業として、地域住民の参画を得てこどもたちと勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等の取組を推進し、こどもたちの放課後の居場所を確保するとともに心豊かな成長を促す。		
担当課名	学校教育課	概算事業費（千円）	6,268
事業内容	R８	R９	R１０
	→	→	→
	市内９教室で開催 全指導員対象の研修会の開催 コーディネーター研修会の開催		
指標	指導員、サポーターの研修会実施回数		
目標値	R８	R９	R１０
	１回	１回	１回

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	１回	１回	A　目標値以上
	R7 年度においては、市内 10 会場で実施した。内容は国語と算数の補充学習がメインだが、マジックや和太鼓、英会話のように工夫を凝らした内容を実施している会場もある。 指導員の高齢化による内容の縮小と新規指導員の確保が課題ではあるが、引き続き子供の居場所の一つとして実施していく。なお、向陽小については、R8 年度は休止し、R9 年度は実施する予定。		

No	57	子どもたちの安心	総合戦略

事業名	こども・若者相談事業		
事業概要	主に中学校卒業以降の若者世代とその家族を対象に、社会で自立していくためのあらゆる相談に対応するため、相談員を配置し、相談対応や助言などの支援を行う。		
担当課名	こども若者家庭センター	概算事業費（千円）	4,407
事業内容	R８	R９	R１０
	→	→	→
	ひきこもり・ニートや、高校生年代の不登校などを中心とした 若者相談への対応、居場所事業		
指標	新規相談件数（実人数）		
目標値	R８	R９	R１０
	100 人	100 人	100 人

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	100 人	71 人	B　目標値の 70%から 100%未満
	新規相談者は 71 名。延べ相談対応件数は 1386 件。中学校訪問を実施し、進学・就職先なしの児童への中学校卒業後の相談先の周知啓発を実施するとともに、不登校・ひきこもり支援講演会を実施し、こどもや若者が抱える問題について参加者が理解を深め、共に考える場を持つ事が出来た。 今後も若者やこどもが抱える問題についての周知啓発活動を実施し、こどもや若者が安心して暮らすことができるまちづくりを目指していく。		

No	58	子どもたちの安心	総合戦略

事 業 名	**こどもの居場所に係る支援制度の創設事業**		
事業概要	こどもたちが地域における人との繋がりを通じて健やかに成長する環境を充実させるため、こどもの居場所づくり活動を行う民間団体を支援する。		
担当課名	こども未来課	概算事業費（千円）	2,000

事業内容	R８	R９	R１０
	こどもの居場所補助金		

指標	補助金申請団体数

目標値	R８	R９	R１０
	7 件	7 件	7 件

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	7 件	3 件	C　目標値の 70%未満

R7 年度からは補助制度の利用団体の拡大を図るため、要綱を改正し、補助金の対象条件の緩和を実施した。しかしながら申請件数は 3 件と伸び悩んでいるため、より利用しやすい制度への改善を検討する。地域における人々とのつながりを通じてこどもが成長できる機会をさらに増やし、地域全体でこどもを支える環境の構築を目指す。

分野4 福祉・健康

実 施 計 画 事 業

基本施策 1 地域福祉の推進

施 策 の 内 容

⑴ **地域福祉を担う人材を育成します**
⑵ **ふれあい、支え合い、助け合いの仕組みづくりを進めます**
⑶ **自立した生活が送れるよう支援します**

実 施 計 画 事 業

No	59※新規	子どもたちの安心	総合戦略
事 業 名	**重層的支援体制整備事業**		
事業概要	複合的な課題を抱える世帯が適切な支援につながり、分野横断的な包括的相談支援体制と多機関協働による切れ目のない支援体制を構築する。		
担当課名	福祉政策課	概算事業費（千円）	5,004
事業内容	R８	R９	R１０
	包括的相談支援事業の実施 多機関協働事業の実施	→	包括的相談支援事業の実施 多機関協働事業の実施 アウトリーチを等を通じた継続的支援事業の実施 参加支援事業の実施 地域づくり事業の実施
指標	重層的支援会議・支援会議での検討件数		
目標値	R８	R９	R１０
	5 件	10 件	10 件

No	60	子どもたちの安心	総合戦略

事業名	**自立相談・就労準備支援事業** （自立支援･就労準備支援事業･学習チャレンジ支援事業）		
事業概要	生活困窮者の相談支援、家計改善支援、居住支援及び一般就労に向けた基礎能力の形成支援などを行うことで、自立の促進を図る。また、生活困窮世帯のこどもを対象に、高校等への進学に向け、学習の場の提供、教育相談及び学習支援を行うことで、将来の自立促進に繋げる。		
担当課名	福祉相談課	概算事業費（千円）	192,243

	R８	R９	R１０
事業内容	自立相談支援事業、居住支援事業、家計改善支援事業 就労支援事業、就労準備支援事業、学習チャレンジ支援事業		
指標	①参加者数（就労準備支援事業） ②参加者数（学習チャレンジ支援事業）		
目標値	①85 人（就労準備支援事業） ②30 人（学習チャレンジ支援事業）	①90 人（就労準備支援事業） ②30 人（学習チャレンジ支援事業）	①90 人（就労準備支援事業） ②30 人（学習チャレンジ支援事業）

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	① 80 人 ② 30 人	① 73 人 ② 29 人	①B　目標値の 70%から 100%未満 ②B　目標値の 70%から 100%未満

くらしと仕事相談センターの開設とともに開始した居住支援事業（一時生活支援）により、居所を失った困窮者の支援方法を広げ、居所喪失者の急な相談にも迅速に対応したほか、住まいの相談窓口を開設し、居所に困っている困窮者の相談支援体制を強化した。

就労準備支援事業については、生活習慣の改善や社会的能力を身につけるための支援、求職活動に向けたスキルアップなど対象者に寄り添った支援を実施した。今後については、利用が長期化しないような支援プログラムの策定を強化していく。

学習チャレンジ支援事業では、参加した中学３年生９名全員が高校へ進学できた。今後は、学習支援の強化、学習支援と居場所機能の棲み分け等、実施方法の見直しを検討していく。

基本施策 2　高齢者福祉の充実

施 策 の 内 容

⑴ **生きがいづくりと介護予防の充実を図ります**
⑵ **住み慣れた地域で暮らすための支援の充実を図ります**
⑶ **認知症施策を推進します**
⑷ **高齢者支援サービスの充実を図ります**

実 施 計 画 事 業

No	61	暮らしと健康の安心	総合戦略

事業名	介護予防・生活支援サービス事業		
事業概要	通所による介護予防を目的とした生活機能向上のための訓練やサービス及び訪問による自立した生活を送ることができるようにするための生活支援を行う。		
担当課名	高齢者支援課	概算事業費（千円）	801,904
	R８	R９	R１０
事業内容	→	→	→
	介護予防・生活支援サービスの提供、事業の周知		
指標	①いきいきデイサービス（緩和基準サービス）の件数 ②家事援助サービス（緩和基準サービス）の件数		
目標値	R８	R９	R１０
	①1,823 件 ② 139 件	①1,848 件 ② 140 件	①1,872 件 ② 141 件

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	①1,798 件 ② 138 件	①1,072 件 ② 10 件	① C 目標値の 70%未満 ② C 目標値の 70%未満
	前年に比べ訪問・通所ともに減少傾向である。引き続き、事業周知を更に行い、適正なサービス提供に努めていく。		

No	62	暮らしと健康の安心	総合戦略

事業名	一般介護予防事業		
事業概要	介護予防に関する知識の普及啓発や、介護予防活動の育成支援を行う。		
担当課名	福祉政策課 健康増進課	概算事業費（千円）	21,981
事業内容	R８	R９	R１０
	介護予防普及啓発の実施 ボランティアの育成・活動支援		
指標	介護予防普及啓発事業実施回数		
目標値	R８	R９	R１０
	255 回	255 回	255 回

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	252 回	167 回	C　目標値の 70%未満

介護予防に関する啓発回数は目標を下回ったが、フレイルに関する市の取組を広報いわたに掲載するなど効果的な啓発に努めた。また、いきいき百歳体操を始めてから 10 年を経過する団体への表彰や体操のポイントを解説する動画を作成し、既存の介護予防活動の活性化を図った。

今後は、既存の団体に対する活動継続や新規団体の立ち上げ支援を実施していくとともに、テレビゲームの活用等により介護予防に繋げる活動の充実に努める。

No	63	暮らしと健康の安心	総合戦略

事業名	地域リハビリテーション活動支援事業		
事業概要	高齢者の自立支援・介護予防の推進を図るため、リハビリテーション専門職が助言等を行い、高齢者一人ひとりの状態に適した介護予防の取り組みを支援する。		
担当課名	福祉政策課	概算事業費（千円）	7,269
事業内容	R８	R９	R１０
	リハビリテーション専門職による助言		
指標	リハビリテーション専門職の同行訪問を実施した年間延べ人数（人）		
目標値	R８	R９	R１０
	150 人	150 人	150 人

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	150 回	52 回	C　目標値の 70%未満

フレイルからの早期回復の重要性および事業の周知を図るため、広報いわたへの掲載や市内医療機関への案内等を実施した。

R8 年度からは、新たに総合事業の支援対象となる方に対し、リハビリテーション専門職による同行訪問を実施していく。

No	64	暮らしと健康の安心	
事 業 名	**生活支援体制整備事業**		
事業概要	ボランティア等の生活支援の担い手の養成・発掘、地域資源の開発やそのネットワーク化などを行う「生活支援コーディネーター」の活動支援を行う。		
担当課名	福祉政策課	概算事業費（千円）	663

事業内容	R８	R９	R１０
	生活支援コーディネーターの活動支援 生活支援体制整備協議体の運営 生活支援コーディネーターの体制見直しの検		

指標	地域資源件数（生活支援コーディネーターが把握している資源）		
目標値	R８	R９	R１０
	450 件	450 件	450 件

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	450 件	472 件	A　目標値以上

生活支援コーディネーターが地域の関係者と情報共有や連携することで、多くの地域資源の把握をすることができた。多様なニーズに応えることができるよう、新たな活動の創出や必要とする方とのマッチングを引き続き推進するとともに、生活支援コーディネーターが把握している社会資源の情報を関係機関で情報共有することで、地域の課題や予防につながる活動につながるよう関係者の連携も深めていく。
生活支援コーディネーターの地域資源創出と個別ケースへの関わり方について検討を進める。

No	65	暮らしと健康の安心	
事 業 名	**地域包括支援センター運営事業**		
事業概要	地域住民の心身の健康の保持及び生活安定のために必要な援助と、保健医療の向上及び福祉の増進を図るため、地域包括支援センターの適切な運営を行う。		
担当課名	福祉政策課	概算事業費（千円）	586,248

事業内容	R８	R９	R１０
	高齢者の総合相談窓口としての地域包括支援センター運営		

指標	地域包括支援センターの相談件数		
目標値	R８	R９	R１０
	29,000 件	29,000 件	29,000 件

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	28,000 件	28,616 件	A　目標値以上

高齢者や高齢者のみ世帯が増加している中、認知症高齢者と精神疾患のある子の世帯への対応など、問題が複合化している相談件数が増え、ケース対応の負担が大きくなっている。全ての人の困りごとを受け止め、必要な支援につなげる体制づくりを進めていく。

No	66	暮らしと健康の安心	総合戦略

事業名	**認知症総合支援事業**		
事業概要	認知症への理解・関心を高めるための普及啓発の推進及び認知症の人を含む高齢者に優しい地域づくりを推進する。		
担当課名	福祉政策課	概算事業費（千円）	7,293

事業内容	R８	R９	R１０
	→	→	→
	認知症普及・啓発 認知症の見守り支援		

指標	認知症サポーター数（人）

目標値	R８	R９	R１０
	24,300 人	25,900 人	27,500 人

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	24,400 人	22,702 人	B　目標値の 70%から 100%未満

認知症サポーター養成講座を開催し、756 人のサポーターを養成した。小中学生の新規サポーター養成数が少ないため、講座開催に繋がるよう引き続き学校等へ周知していく。また、認知症フォーラムでは、認知症当事者の方を招いた講演会を実施し、344 名が参加した。当事者の声を聴くことで「認知症と共に生きること」について考える機会を提供することができた。引き続き住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための啓発活動を推進していく。

No	67	暮らしと健康の安心	

事業名	**認知症高齢者等個人賠償責任保険事業**		
事業概要	市が一括して保険に加入し、認知症高齢者等が事故で損害賠償責任を負った場合に保険金を支払う。		
担当課名	高齢者支援課	概算事業費（千円）	1,272

事業内容	R８	R９	R１０
	→	→	→
	認知症施策の普及啓発と推進 認知症高齢者等個人賠償責任保険に加入		

指標	認知症高齢者等個人賠償責任保険の加入者数（人）

目標値	R８	R９	R１０
	210 人	210 人	210 人

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	200 人	209 人	A　目標値以上

前年に比べ登録数は増加傾向であり現在 210 名前後で推移している。必要とする方が加入できるよう、引き続き機会を捉えて周知に努める。

No	68	暮らしと健康の安心	
事 業 名	**成年後見制度利用促進事業**		
事業概要	成年後見制度の利用促進を図るため、広報、相談、市民後見人等への支援を行う成年後見支援センターの運営を行う。		
担当課名	福祉政策課	概算事業費（千円）	37,105

事業内容	R８	R９	R１０
	成年後見制度利用促進のための普及啓発、相談支援、関係機関との連携	成年後見制度利用促進のための普及啓発、相談支援、関係機関との連携、市民後見人養成	成年後見制度利用促進のための普及啓発、相談支援、関係機関との連携

指標	相談件数（関係機関からの相談を含む）

目標値	R８	R９	R１０
	160 件	180 件	200 件

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	140 件	168 件	A　目標値以上

成年後見制度利用促進に係る中核的な会議で、弁護士、司法書士、社会福祉等専門職が参加する権利擁護検討会を全 8 回開催した。会議では、権利擁護に係る事例検討や市長申立の際の後見人適任職種の受任調整、市民後見人の選任、権利擁護に係るチーム支援等についての協議を行った。

また、3 市 1 町（袋井市、湖西市、森町）の共催で市民後見人養成講座を全 10 回開催し、新たに 8 名の市民後見人候補者を養成した。

相談件数は前年度よりも増加しており、引き続き制度の周知を図っていく。

No	69	暮らしと健康の安心	
事 業 名	**介護施設等基盤整備事業**		
事業概要	地域密着型サービス事業所等が実施する施設整備及び開設準備に対し補助を行う。		
担当課名	高齢者支援課	概算事業費（千円）	0

事業内容	R８	R９	R１０
	第 9 期介護保険事業計画に基づく施設整備 第 10 期介護保険事業計画の策定	→	第 10 期介護保険事業計画に基づく施設整備

指標	事業者選定による介護施設の確保

目標値	R８	R９	R１０
	1 施設	―	―

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	1 施設	1 施設	A　目標値以上

第 9 期介護保険事業計画に基づき、介護医療院 1 施設（50 床）を開設した。

基本施策 3　障がい児者福祉の充実

施 策 の 内 容

⑴ **相互理解と社会参加を促進します**
⑵ **障がい福祉サービスの充実を図ります**
⑶ **障がい者雇用・就労を促進します**

実 施 計 画 事 業

No	70		暮らしと健康の安心	
事 業 名	**在宅障害者支援事業**			
事業概要	在宅障がい者の日常生活支援及び社会参加の促進のために助成を行う。			
担当課名	福祉相談課		概算事業費（千円）	101,310
事業内容	R８		R９	R１０
	→		→	→
	障害者タクシー利用料金助成の実施 ライフサポート事業費補助金の交付 障害者福祉施設通所費補助金の実施			
指標	障害者福祉施設通所費助成受給者数（人）			
目標値	R８		R９	R１０
	540 人		545 人	550 人
実績 （R７）	目標値	実績値	評　価	
	565 人	529 人	B　目標値の 70%から 100%未満	
	在宅障がい者に対し助成をすることで、日常生活の支援や社会参加の促進を図ることができた。			

No	71	暮らしと健康の安心	
事業名	**障害者医療費等助成事業**		
事業概要	障がい者の生活を安定させるための年金制度への助成及び障がい者並びに介護者に医療費を助成することにより自己負担の軽減を図る。		
担当課名	福祉相談課	概算事業費（千円）	984,969

事業内容	R８	R９	R１０
	→	→	→
	心身障害者扶養共済事業の実施 重度障害児者医療費の助成 精神障害者医療費の助成		

指標	精神障害者医療費受給者数（人）		
目標値	R８	R９	R１０
	200 人	200 人	200 人

実績（R７）	目標値	実績	評　価
	200 人	158 人	B　目標値の 70%から 100%未満
	支援が必要な障がい者に対し、医療費の助成を行うことができた。 今後も継続的に実施する。		

No	72	暮らしと健康の安心	総合戦略
事業名	**障害者地域生活支援事業**		
事業概要	障がい者(児)がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援する。		
担当課名	福祉相談課	概算事業費（千円）	616,126

事業内容	R８	R９	R１０
	→	→	→
	障害者相談支援センター･障害者虐待防止センターの委託 日中一時支援事業・日常生活用具給付等の実施 手話通訳、要約筆記者派遣 ほか		

指標	地域生活支援事業利用者数（人） （移動支援・日中一時支援）		
目標値	R８	R９	R１０
	440 人	440 人	440 人

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	430 人	381 人	B　目標値の 70%から 100%未満
	地域における日常生活や社会参加の促進を図るため助成を行った。相談支援事業については、複雑化、複合化への対応のため、今後も機能強化を継続的に実施する。		

No	73	暮らしと健康の安心	総合戦略

事業名	障害者福祉施設及び児童福祉施設整備費補助事業		
事業概要	障がい者及び児童福祉施設建設費や施設整備の借入金の償還金に対する補助金を交付する。		
担当課名	福祉相談課 こども未来課	概算事業費（千円）	79,847

事業内容	R８	R９	R１０
	→	→	→
	施設整備・償還金の助成		

指標	障害者福祉施設　助成対象施設数		
目標値	R８	R９	R１０
	13 施設	11 施設	11 施設

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	12 施設	14 施設	A　目標値以上

施施設整備による社会資源の充実を図るため、施設整備償還金の補助を行った。R7 年度は、新規の施設整備補助を行い、新たな社会資源が整備された。

R8 年度も引き続き、障害者及び児童福祉施設の整備費補助及び償還金の一部補助を行う。今後も、発達障害児をはじめとする障害児支援のための施設整備について検討を続けていく。

基本施策 4　健康づくりの推進

施策の内容

⑴ **生活習慣病予防を推進します**
⑵ **健康寿命の延伸と健康格差の縮小を目指します**
⑶ **感染症対策を推進します**

実施計画事業

No	74		暮らしと健康の安心	
事業名	**がん等検診事業**			
事業概要	健康増進法等に基づきがん等の検診を実施し、早期発見・早期治療を促すとともに予防意識を高め、健康の維持増進を図る。			
担当課名	健康増進課	概算事業費（千円）	319,854	
事業内容	R８	R９	R１０	
	 がん検診等の実施 （胃がん、胃がんリスク、大腸がん、結核・肺がん、乳がん、子宮頸がん、前立腺がん、肝炎ウイルス、骨、歯科、生活保護者健診）			
指標	胃がん・大腸がん・肺がん・子宮がん・乳がん・前立腺がんの各検診の受診者数（延べ）（人間ドック以外）			
目標値	R８	R９	R１０	
	44,005 人	44,005 人	44,005 人	

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	44,005 人	33,879 人	B　目標値の 70%から 100%未満
	県が主導する受診率向上に向けたキャンペーンに参加するなどし、受診率向上に取り組んだ。 R8 年度は、より受診しやすい環境づくりとして、商業施設の受診会場を拡張し、受診できる健診の種類を増やしていく。		

No	75	暮らしと健康の安心	
事 業 名	**国民健康保険特定健康診査等事業**		
事業概要	国保被保険者の 40～74 歳を対象に特定健康診査を実施するとともに、生活習慣病予防の保健指導が必要な対象者を抽出し、特定保健指導を実施する。		
担当課名	健康増進課	概算事業費（千円）	366,781

事業内容	R８	R９	R１０
	→	→	→
	特定健診の実施 保健指導の実施		

指標	特定健康診査受診者数（人）		
目標値	R８	R９	R１０
	11,972 人	12,545 人	13,137 人

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	11,410 人	9,351 人	B　目標値の 70%から 100%未満

民間事業者の知見を活かし、AI分析に基づく対象者に応じた受診勧奨事業を実施した。
R8年度からは、県と6市町が参加する成果連動型受診勧奨事業へ参加し、引き続き受診率の向上に努めていく。

No	76	暮らしと健康の安心	
事 業 名	**後期高齢者健康診査事業**		
事業概要	疾病の重症化予防を目的として、後期高齢者医療の被保険者に対し健康診査を実施する。		
担当課名	健康増進課	概算事業費（千円）	239,758

事業内容	R８	R９	R１０
	→	→	→
		後期高齢者の健診等の実施	

指標	後期高齢者健康診査受診者数（人）		
目標値	R８	R９	R１０
	6,844 人	7,374 人	8088 人

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	6,152 人	5,967 人	B　目標値の 70%から 100%未満

75 歳を対象に、集団バス健診を試行するとともに、医師会や健診機関等との調整を行った。
R8 年度からは、集団バス健診を全年齢に拡大し、より受診しやすい環境づくりに努めていく。

No	77	子どもたちの安心	総合戦略

事業名	妊産婦・乳幼児健診事業		
事業概要	母子保健法に基づき、妊産婦・乳児の個別健診及び幼児の集団健診を実施し、妊産婦・乳幼児の健康の保持増進、病気などの早期発見を図る。		
担当課名	こども若者家庭センター	概算事業費（千円）	440,910

事業内容	R８	R９	R１０
	妊産婦･乳幼児健診事業の実施		

指標	妊婦歯科健診受診率（%）

目標値	R８	R９	R１０
	55%	55%	55%

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	55%	45.6%	B　目標値の 70%から 100%未満

乳児健診は前年度に続き受診率は 95%以上であった。妊婦歯科健診は目標値に達しなかったため、母子手帳交付時に受診に繋がるような啓発を行っていく。
妊産婦健診、幼児健診は、医療機関と連携し、支援の必要な母子を早期に発見しつつ、母子の信頼を得た地区担当保健師が切れ目ない支援を行っている。
今後も早期から母子へ関わる体制作りを継続していく。

No	78	暮らしと健康の安心	

事業名	まちの保健室事業		
事業概要	住民主体の健康な地域づくりを推進するために、地域へ出向く事業を展開し、生活習慣病予防対策等の充実を図る。		
担当課名	健康増進課	概算事業費（千円）	5,253

事業内容	R８	R９	R１０
	まちの保健室 健康教育（講座等） 成人家庭訪問（健診事後指導）		

指標	まちの保健室開催回数と健康教育実施回数 ※交流センターや市内の大型店舗/企業等で健康教育を実施

目標値	R８	R９	R１０
	110 回	110 回	110 回

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	110 回	162 回	A　目標値以上

R8 年度からは健康づくり事業に統合し、より多くの市民にアプローチできる形を模索しつつ事業を実施していく。

基本施策 5　地域医療体制の充実

施 策 の 内 容

⑴ **市立総合病院の機能の充実を図ります**
⑵ **地域医療連携体制の充実を図ります**
⑶ **災害時医療体制を充実･強化します**
⑷ **救急医療体制の充実を図ります**

実 施 計 画 事 業

No	79		暮らしと健康の安心	
事 業 名	**（仮称）内視鏡センター施設整備事業**			
事業概要	増加傾向にある消化器疾患患者の受入対応ができるよう（仮称）内視鏡センターを新設する。検査前処置室を含めた検査室、リカバリー室などの整備の充実を図る。			
担当課名	病院総務課		概算事業費（千円）	293,000
事業内容	R８		R９	R１０
	敷地造成工事 内視鏡センター新築工事 （R8事業完了）		（R8事業完了）	（R8事業完了）
指標	工事進捗率（事業費ベース）			
目標値	R８		R９	R１０
	100%		―	―
実績 （R７）	目標値	実績値	評　価	
	90%	79%	B　目標値の 70%から 100%未満	
	工事の変更・工期の変更があったものの R8 年 6 月に完了する予定となった。 今後稼働に向けて院内の運用方法など調整・準備を進めていく。			

No	80	暮らしと健康の安心	
事業名	**若年がん等支援事業**		
事業概要	若年がん患者等の社会復帰や療養生活に係る負担を軽減するために支援をする。 助成制度を通じ骨髄移植への理解とドナー登録の推進を図る。		
担当課名	健康増進課	概算事業費（千円）	14,730

事業内容	R８	R９	R１０
	→	→	→
	若年がん患者等の支援（妊孕性温存治療費、医療用補整具購入費、在宅療養生活費） 骨髄移植ドナー支援		

指標	若者がん等支援事業の助成者数及び骨髄ドナーの登録者数（人）		
目標値	R８	R９	R１０
	120 人	120 人	120 人

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	120 人	113 人	B　目標値の 70%から 100%未満
	電子申請を併用するなどし、申請者の体調を考慮した柔軟な対応に努めた。 R8 年度中には、骨髄ドナーの助成金申請についても電子申請対応できるようにしていく。		

No	81	まちづくりと防災への安心	
事業名	**災害医療救護体制整備事業**		
事業概要	救護所に医療資機材を配備し、三師会等を含めた医療救護訓練を実施することにより、災害時に円滑な医療救護活動が実施できるように医療救護体制を整備する。		
担当課名	健康増進課	概算事業費（千円）	27,335

事業内容	R８	R９	R１０
	新しい救護体制の周知･啓発 受援マニュアルの見直し 県総合防災訓練	→	→
		新しい救護体制の周知・啓発 各種マニュアルの更新 資機材等の見直し	

指標	市が第４次被害想定を踏まえて準備をしている医薬資材により対応可能な人数(人)		
目標値	R８	R９	R１０
	2,900 人	2,900 人	2,900 人

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	2,900 人	2,900 人	A　目標値以上
	医療機関と三師会等と協議を重ね、医療救護体制を変更した。それに伴い磐田市医療救護計画と初動マニュアルを更新した。 R8 年度以降も医療救護訓練を行い、体制整備へと繋げていくとともに、アクションカードや受援マニュアルを作成していく。		

分野 5　防災・消防・安全安心

実 施 計 画 事 業

基本施策 1　危機管理・防災対策の推進

施 策 の 内 容

⑴ **危機管理体制を強化します**
⑵ **地域防災力の向上を図ります**
⑶ **風水害対策を推進します**
⑷ **大規模地震・津波対策を推進します**
⑸ **建築物などの耐震化を促進します**
⑹ **原子力防災対策を推進します**

実 施 計 画 事 業

No	82	まちづくりと防災への安心	総合戦略

事 業 名	**地域防災計画等策定事業**		
事業概要	防災会議、国民保護協議会を開催し、諸計画の策定を実施するとともに、原子力災害時の避難先との調整を行う。		
担当課名	危機管理課	概算事業費（千円）	34,774

事業内容	R８	R９	R１０
	内水、津波、高潮(参考図)のハザード追加	各種計画修正	防災ファイル更新 （静岡県第５次想定仕様）

指標	地震・津波対策アクションプログラム 2023 の R8 年度目標数値を達成したプログラム率(%)

目標値	R８	R９	R１０
	100%	100%	100%

実績 (R７)	目標値	実績値	評　価
	100%	65%	C　目標値の 70%未満
	デジタルハザードマップの整備が完了した。R8 年度には、レイヤー追加し利便性の向上を図るとともに、より多くの市民に利用してもらえるよう、閲覧方法などの周知啓発を行う。		

No	83	まちづくりと防災への安心	総合戦略

事業名	災害システム構築事業		
事業概要	災害対策本部の運営に関わるシステムの導入、改修、維持管理を行う。		
担当課名	危機管理課	概算事業費（千円）	80,397

事業内容	R８	R９	R１０
	沿岸部津波監視システムの方針検討(ドローン及びドローンポート)	衛星携帯電話の更新 地域防災無線等 （スターリンク含む）基本構想	地域防災無線更新

指標	防災関係システム等の導入実績

目標値	R８	R９	R１０
	沿岸部津波監視システムの方針決定	衛星携帯電話の更新	地域防災無線の更新 1/2

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	通信ツールの導入ロードマップの作成	作成率 100%	A　目標値以上
	通信ツールの導入ロードマップを作成した。ロードマップに沿って衛星携帯電話の更新、スターリンクの導入を着実に進めていくとともに、災害システム全般にフェーズフリーの考え方を取り入れシステム構築を進めていく。		

No	84	まちづくりと防災への安心	総合戦略

事業名	下水道施設（雨水）整備事業		
事業概要	【水災害対策プラン】 浸水被害を軽減させるため、排水ポンプ場や雨水管渠等の整備を行う。		
担当課名	道路河川課	概算事業費（千円）	1,645,630

事業内容	R８	R９	R１０
	→	→	→
	既設ポンプ場改築・増設工事等		

指標	事業進捗率（%）（事業費ベース）

目標値	R８	R９	R１０
	47%	52%	57%

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	42%	42%	A　目標値以上
	鳥之瀬排水ポンプ場設備の機能強化を図るため、耐震補強工事に着手した。 国庫補助金等の財源確保が課題である。		

No	85	まちづくりと防災への安心	総合戦略

事業名	下水道施設（雨水）維持管理事業		
事業概要	【水災害対策プラン】 排水ポンプ場の運転管理や雨水管渠等施設の維持管理を行う。		
担当課名	道路河川課	概算事業費（千円）	852,395

事業内容	R８	R９	R１０
	雨水管渠及びポンプ場(12 施設）の維持管理		

指標	ポンプ運転管理委託数（件）

目標値	R８	R９	R１０
	12 件	12 件	12 件

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	12 件	12 件	A　目標値以上

ポンプ施設の適正な維持管理を行った。
労務単価の上昇により、事業費が増加しており、限られた予算の中で必要な事業量を確保していくことが課題となっている。

No	86	まちづくりと防災への安心	総合戦略

事業名	普通河川等改修事業		
事業概要	【水災害対策プラン】 水災害対策プランに基づく浸水対策工事を行うとともに、自治会要望等に基づく普通河川および排水路の改修工事を行う。		
担当課名	道路河川課	概算事業費（千円）	2,098,500

事業内容	R８	R９	R１０
	排水路修繕･改修工事･浸水対策工事等		

指標	自治会要望実施件数（件）

目標値	R８	R９	R１０
	120 件	120 件	120 件

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	120 件	120 件	A　目標値以上

自治会要望による河川の改修工事等を実施した。
「水災害対策プラン」に基づき、浸水対策を推進していく。

No	87	まちづくりと防災への安心	

事業名	治山事業		
事業概要	令和４年台風第 15 号による土砂災害を受け、県の災害対策工事に併せて治山施設（流路）の整備を実施するなど、治山事業を推進する。		
担当課名	農林水産課	概算事業費（千円）	58,540
事業内容	R８	R９	R１０
	神増地内治山事業(工事)	神増地内治山事業(測量･設計)	神増地内治山事業(工事)
指標	治山施設受益森林面積（神増地区）：(ha)		
目標値	R８	R９	R１０
	7.9ha	7.9ha	7.9ha

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	1.7ha	1.7ha	A　目標値以上

R7 年度は工事実施のため測量・設計業務を実施した。
今後は、県発注工事も同じ場所で施工を行っているため、調整のうえ工事を進めていく必要がある。あわせて、残りの流路工も施工していく。

No	88	まちづくりと防災への安心	

事業名	田んぼダム・樋門整備推進事業		
事業概要	近年の気候変動等の影響による水災害の激甚化・頻発化等を踏まえ、流域に関わるあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う「流域治水」の考えの基、静岡県と連携し、流域治水対策事業（田んぼダム、樋門整備の推進）を進めていく。		
担当課名	農林水産課	概算事業費（千円）	35,990
事業内容	R８	R９	R１０
	→		田んぼダム推進のための角落しセギ板の支給
	田んぼダム推進のための角落しセギ板の支給 古川流域の樋門(フラップゲート)の工事		
指標	田んぼダムの整備面積（９ｈａ/年）		
目標値	R８	R９	R１０
	9ha	9ha	9ha

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	9ha	9.8ha	A　目標値以上

R7 年度は福田地区に 9.8ha の田んぼダムを整備し、R8 年度は豊田地区の宮之一色へ田んぼダムを整備予定。今後も引き続き周知を実施し、整備面積を拡大していく。

No	89	まちづくりと防災への安心	総合戦略

事業名	海岸堤防整備事業		
事業概要	静岡県第４次地震被害想定レベル２の津波に対応した静岡モデルによる海岸堤防整備を実施する。		
担当課名	農林水産課	概算事業費（千円）	1,935,054
事業内容	R８	R９	R１０
	海岸堤防整備工事 海岸堤防にかかる広報	（R8 事業完了）	（R8 事業完了）
指標	海岸堤防の整備進捗率（%）（市施工分延長ベース）		
目標値	R８	R９	R１０
	100%	100%	100%

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	91%	84%	B　目標値の 70%から 100%未満
	R7 年度は施工延長は 2581m（CSG 工区を含む）の防潮堤工事を実施し、進捗率は事業全体の約 84%となっている。R8 年度に事業完了を予定している。		

No	90	まちづくりと防災への安心	

事業名	防災資機材整備事業		
事業概要	大規模災害を想定し、被災状況等により食料などの確保が困難な市民のために、備蓄の考え方を整理し、公的備蓄の整備を推進する。		
担当課名	危機管理課	概算事業費（千円）	282,279
事業内容	R８	R９	R１０
	備蓄品の購入	スフィア基準適合備蓄品の購入 フェーズフリーの資機材の導入検証	
指標	備蓄品の整備率（%）		
目標値	R８	R９	R１０
	81%	90%	100%

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	69%	68%	B　目標値の 70%から 100%未満
	予算の範囲内で備蓄を行った。引き続き可能な範囲で備蓄を進めていく。 市の財政負担軽減に向け、ランニングストック等の研究を行ったが、課題も多く成果には至っていない。		

No	91		まちづくりと防災への安心	
事 業 名	**防災施設管理事業**			
事業概要	迅速な災害対応を実施するため、防災備蓄ステーション等の防災施設や資機材の維持管理を行う。			
担当課名	危機管理課	概算事業費（千円）	78,726	
事業内容	R８	R９	R１０	
	防災施設や資機材の維持管理 浅井戸手押しポンプ設置		防災施設や資機材の維持管理 浅井戸手押しポンプ設置 マンホールトイレ設置工事の検討(公共施設再編計画と整合)	
指標	浅井戸設置予定箇所への手押しポンプ整備率（分母 15） ※R7 までは、マンホールトイレ未整備の指定避難所への整備率（分母 22）（%）			
目標値	R８	R９	R１０	
	13%	46%	80%	
実績 （R７）	目標値	実績値	評　価	
	0%	0%	A　目標値以上	
	マンホールトイレの整備計画を検討したが、公共施設再編計画との整合性の確保のため、一旦整備を中止し、代替手段の検討を行うこととした。 避難所における停電時の生活用水の確保に向け、浅井戸への手押しポンプの設置計画を立てたので、計画的に進めていく。			

No	92	まちづくりと防災への安心	総合戦略

事業名	建築物等耐震改修促進事業		
事業概要	地震時の建物の倒壊等による被害を軽減するため、建物の耐震化や耐震性に劣る木造住宅の除却、避難空間を確保できる耐震シェルターの設置、屋根の耐風化等に対して支援を行う。		
担当課名	建築住宅課	概算事業費（千円）	167,445

事業内容	R８	R９	R１０
	→	→	→

【委託事業】
・木造住宅の耐震診断等
【補助事業】
・木造住宅耐震補強工事・木造住宅除却工事・耐震シェルター等整備事業
・ブロック塀等撤去・建替え事業・屋根耐風改修促進事業
ほか

指標	木造住宅の耐震補強補助金件数（累計）		
目標値	R８	R９	R１０
	1,450 件	1,470 件	1,490 件

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	1,387 件	1,430 件	A　目標値以上

県の木造住宅耐震化支援制度が R7 年度末終了予定だったため、県と合同の戸別訪問や広報いわた等により周知・啓発を図った結果、耐震診断 32 件、補強工事 57 件、除却工事 22 件の支援につながった。

県が新たな支援制度を創設したため、R8 年度以降も市の支援制度を継続し、市耐震改修促進計画（第４期）の目標（R12 年度末　耐震性が不十分なものを概ね解消）達成を目指す。

また、高齢者のみ世帯や資金不足等の理由により耐震化に至らない方への対策として、命を守る対策（耐震シェルター・防災ベッド）も継続していく。

基本施策 2　消防・救急体制の充実

施 策 の 内 容

⑴ **消防力の強化を図ります**
⑵ **火災予防を推進します**
⑶ **救急・救助体制の充実を図ります**

実 施 計 画 事 業

No	93		まちづくりと防災への安心	
事 業 名	**中東遠消防指令センター運営事業**			
事業概要	中東遠地域において消防通信指令業務を共同で運用する。			
担当課名	消防総務課	概算事業費（千円）	1,813,800	
事業内容	R８	R９	R１０	
	消防救急デジタル無線全更新実施設計 指令センターエリア LED 化工事	消防救急デジタル無線全更新	指令センター運営事務	
指標	通信設備が正常に機能した稼働日数率（%）			
目標値	R８	R９	R１０	
	100%	100%	100%	

実績 (R７)	目標値	実績値	評　価
	100%	100%	A　目標値以上
	浸水対策の強化として、１階車庫棟にある指令センター専用の自家発電設備と高圧受電設備の周囲に防水壁を設置する工事が完了した。 中東遠消防救急デジタル無線全更新に係る基本設計が完了し、R９年度の全更新に向けて準備を進める。 指令センター施設のLED化を行い、温室効果ガスの排出削減を目指す。		

No	94	まちづくりと防災への安心	総合戦略

事業名	常備消防資機材整備事業		
事業概要	災害対応資機材の新規導入及び更新整備により、市民の生命、身体、財産を災害から保護するとともに、隊員等の安全管理体制の充実強化を進める。		
担当課名	警防課	概算事業費（千円）	135,391
事業内容	R８	R９	R１０
	消耗資機材･備品購入	消耗資機材・備品購入 消防救急デジタル無線全更新	消耗資機材・備品購入
指標	装備更新計画に基づく単年度資機材整備率（%）		
目標値	R８	R９	R１０
	100%	100%	100%

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	100%	100%	A　目標値以上
	資機材の整備を予定どおりに実施した。今後、老朽化した空気充填施設の更新が必要となる。		

No	95	まちづくりと防災への安心	総合戦略

事業名	常備消防車両更新事業		
事業概要	様々な災害及び多種多様な消防需要に的確に対応するため、新たな車両を導入するとともに、老朽化した車両の更新を進める。		
担当課名	警防課	概算事業費（千円）	216,862
事業内容	R８	R９	R１０
	消防車･救急車などの常備消防車両の更新 ･はしご車オーバーホール(塗装あり:車両維持管理事業	消防車・救急車などの常備消防車両の更新	
指標	消防車両の更新台数		
目標値	R８	R９	R１０
	１台	１台	３台

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	１台	２台	A　目標値以上
	高規格救急自動車１台（救急４号車）及びR６年度から繰越となった災害対応特殊化学消防ポンプ自動車（72 号車）を更新配備した。老朽化した車両が増加していることから、車両更新計画を継続して見直し、計画的な車両更新に努める。		

No	96		まちづくりと防災への安心	
事 業 名	**非常備消防資機材整備維持管理事業**			
事業概要	消防団活動の円滑化及び災害対応能力を向上させるため、資機材の新規導入及び更新整備を行う。			
担当課名	警防課	概算事業費（千円）	13,734	
事業内容	R８	R９	R１０	
	可搬ポンプ更新			
指標	可搬ポンプ整備数（台）			
目標値	R８	R９	R１０	
	１台	１台	１台	
実績（R７）	目標値	実績値	評　価	
	２台	２台	A　目標値以上	
	２台の可搬ポンプを更新した。引き続き、計画、本体の損耗具合及び老朽化を考慮し更新を推進する。			

No	97		まちづくりと防災への安心	
事 業 名	**非常備消防車両更新事業**			
事業概要	地域の安全・安心を確保するため、消防車の更新整備を行う。			
担当課名	警防課	概算事業費（千円）	102,111	
事業内容	R８	R９	R１０	
	ポンプ車や積載車などの非常備消防車両の更新			
指標	消防車両の更新台数			
目標値	R８	R９	R１０	
	３台	３台	３台	
実績（R７）	目標値	実績値	評　価	
	２台	２台	A　目標値以上	
	R7 年度は、R6 年度から繰越となった多機能可搬積載車 2 台を更新した。また、消防ポンプ自動車 1 台と多機能可搬積載車 1 台も更新予定であったが、両車両の生産開始に遅れが生じ、R8 年度へ繰越しとなった。老朽化した車両が増加していることから、車両更新計画を継続して見直し、計画的な車両更新に努める。			

No	98	まちづくりと防災への安心	総合戦略

事業名	**消防団活動拠点施設管理事業**		
事業概要	消防防災体制の確立と消防団の活動環境の整備を図るため、消防団活動拠点を適正に維持管理する。		
担当課名	警防課	概算事業費（千円）	8,727

事業内容	R８	R９	R１０
	コミュニティ消防センターの塗装改修		

指標	コミュニティ消防センター改修工事棟数		
目標値	R８	R９	R１０
	1 棟	1 棟	1 棟

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	2 棟	2 棟	A　目標値以上

R7 年度は 2 箇所の施設改修修繕工事を実施した。今後も、施設の現況を把握し、更新時期及び耐用年数の延伸等、更新計画の見直しを検討していく。

No	99	まちづくりと防災への安心	

事業名	**消防庁舎建設事業**		
事業概要	磐田市消防庁舎の老朽化に伴い、新庁舎の移転整備に向け、基本・実施設計業務等により、設計図書を作成し、造成・建設工事を進める。（消防機能の一体化を図り、災害に強い防災拠点施設となる新消防庁舎の整備）		
担当課名	消防総務課	概算事業費（千円）	7,718,729

事業内容	R８	R９	R１０
	工事監理、造成工事、建築工事		工事監理 建築・舗装工事 電気工事

指標	令和 11 年度供用開始		
目標値	R８	R９	R１０
	工事監理 造成工事 建築工事	工事監理 造成工事 建築工事	工事監理 建築工事 付帯工事(電気、通信設備)

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	用地買収 実施設計 造成前撤去工事 造成工事	用地買収（R7.7 完了） 実施設計（R7.12 完了） 造成前撤去工事（R8.3 完了）	A　目標値以上

磐田市消防庁舎整備実施設計業務において、委託事業者との会議により（15 回開催）、図面等の協議検討を行い、本設計業務の完了（R7.12）につなげた。また、用地の買収については、6 月定例会の議決を経て、7 月に計画地すべての取得が完了した。

事業費については、先行きが見通せない社会経済情勢の中、引き続き物価動向に注視し、情勢を見極めながら、柔軟に対応できるよう事業を進めていく必要がある。

No	100	まちづくりと防災への安心	

事業名	消防水利施設整備事業		
事業概要	耐震性貯水槽の新規設置及び市内に設置されている既存防火水槽の耐震化率向上のために更新整備を図るとともに、既存防火水槽等の修繕を行う。また、水道事業会計に対する負担金により消火栓の設置及び維持管理を行う。		
担当課名	警防課	概算事業費（千円）	279,096
事業内容	R８	R９	R１０
	→	→	→
	耐震性貯水槽設置 消火栓補修		
指標	耐震性貯水槽 40 ㎥設置数		
目標値	R８	R９	R１０
	４基	４基	４基

実績（R７）	目標値	実績値	評価
	４基	４基	A　目標値以上

計画のとおり耐震性貯水槽を４基整備した。消火栓設置にあたり交付税措置のある起債を活用し財源確保に努めた。借地にある防火水槽について土地返還要望が増加傾向にあり代替の設置や撤去費確保が課題となっている。

基本施策 3　市民生活の安全・安心の確保

施策の内容

⑴ **防犯活動を推進します**
⑵ **交通安全対策を推進します**
⑶ **消費生活対策を推進します**

実施計画事業

No	101		まちづくりと防災への安心	総合戦略
事業名	**地域防犯活動支援事業**			
事業概要	誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、地域づくり協議会や警察と連携し、市民の防犯意識の高揚を図る。			
担当課名	自治デザイン課	概算事業費（千円）	20,568	
事業内容	R８	R９	R１０	
	→	→	→	
	磐田警察署管内防犯協会負担金 迷惑電話防止装置購入費補助金			
指標	犯罪発生件数 ※1 月 1 日～12 月 31 日			
目標値	R８	R９	R１０	
	650 件	650 件	650 件	

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	650 件	659 件	B　目標値の 70%から 100%未満

R1 年より発生件数は抑制されているが、特殊詐欺被害に見られるように 1 件当たりの被害額が大きくなる傾向がある。
犯罪被害防止のための啓発活動を実施しても、自分自身が被害に合うことが想定できないことが多く、防犯意識を向上させることが難しい。

No	102	まちづくりと防災への安心	

事業名	交通安全啓発事業		
事業概要	交通事故を削減するため、地域づくり協議会や警察と連携を図り、市民の交通ルール・マナーの向上と交通安全意識の高揚を図る。		
担当課名	自治デザイン課	概算事業費（千円）	65,010

事業内容	R８	R９	R１０
	交通安全運動などの啓発事業の実施 交通安全指導員設置負担金		

指標	交通事故（人身事故）件数 ※1 月 1 日～12 月 31 日		
目標値	R８	R９	R１０
	690 件	690 件	690 件

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	760 件	769 件	B　目標値の 70%から 100%未満
	交通事故件数は減少しているが、R7 年は 2 件の交通死亡事故が発生した。（参考：R6 年は 9 件） 地域住民・警察と協力した交通安全啓発活動に加え、具体的なデータや数字で効果を検証することができるような交通安全啓発活動を実施していく必要がある。		

No	103	暮らしと健康の安心	

事業名	各種専門相談事業		
事業概要	市民の悩みや不安等を解消するため、各種専門相談の場を提供し、市民生活の向上を図る。		
担当課名	広報広聴・シティプロモーション課	概算事業費（千円）	6,821

事業内容	R８	R９	R１０
	専門相談窓口の運営 消費生活相談窓口及び啓発活動 消費者教育の充実		

指標	消費者及び相続セミナー、終活、消費者講座参加者数（人）		
目標値	R８	R９	R１０
	1,400 人	1,400 人	1,400 人

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	1,400 人	1992 人	A　目標値以上
	R7 年度は市制施行 20 周年のため、市内全高校に消費生活講座を実施した。 毎年、高齢者による消費者被害に関する相談が多く寄せられるため、今後はより多くの高齢者団体等に講座を実施し、トラブルの事例や手口を知ってもらうことで被害にあわない消費者を増やしていく。		

分野6　都市基盤・環境

実 施 計 画 事 業

基本施策 1　計画的な土地利用の推進

施 策 の 内 容

⑴ **将来を見据え、バランスの取れた土地利用を推進します**
⑵ **景観に配慮したまちづくりを進めます**
⑶ **地籍調査を推進します**

実 施 計 画 事 業

No	104			まちづくりと防災への安心	
事 業 名	**都市計画調査事業**				
事業概要	都市づくりに関連する市民や企業のニーズに対応するため、都市計画マスタープランに基づき都市計画決定等の手続きを行う。				
担当課名	都市計画課		概算事業費（千円）		63,308
事業内容	R８		R９		R１０
	都市計画マスタープラン及び立地適正化計画改定 都市計画基礎調査 地形図データ修正業務委託		都市計画道路見直し計画（3か年） 都市計画マスタープラン及び立地適正化計画改定		都市計画道路見直し計画（3か年）
指標	都市計画決定数				
目標値	R８		R９		R１０
	０件		１件		０件
実績（R７）	目標値	実績値	評　価		
	０件	２件	A　目標値以上		
	県決定の「都市計画区域ＭＰの変更」及び「区域区分の変更」に係る都市計画決定手続きを実施した。 今後、福田地内の工業系市街化区域の随時編入に向け、産業政策課とともに県協議等を進めていく。				

基本施策 2　公共交通体系と道路網の整備

施 策 の 内 容

⑴ **道路の整備･維持管理を推進します**
⑵ **公共交通の充実を図ります**

実 施 計 画 事 業

No	105		まちづくりと防災への安心	総合戦略
事 業 名	**照明灯維持管理事業**			
事業概要	安全・安心な生活環境の維持を図るため、照明灯・防犯灯の設置・維持管理を実施する。また、自治会設置の防犯灯に対する補助金を交付する。			
担当課名	自治デザイン課	概算事業費（千円）	108,480	
事業内容	R８	R９	R１０	
	→	→	→	
	照明灯の維持管理 自治会への防犯灯設置費の補助			
指標	防犯灯設置事業費補助金の交付件数			
目標値	R８	R９	R１０	
	80 件	80 件	80 件	
実績 （R７）	目標値	実績値	評　価	
	80 件	47 件	C　目標値の 70%未満	
	防犯灯設置については順調に新規設置が進んでおり、件数は落ち着きつつある。 今後は維持管理も含めて進捗管理していきたい。 参考）維持管理補助金件数　29 件			

No	106	子どもたちの安心	
事 業 名	**通学路整備事業**		
事業概要	通学路の安全を図るため、歩道等の整備を行う。		
担当課名	道路河川課	概算事業費（千円）	476,300

事業内容	R８	R９	R１０
	測量設計、通学路整備工事		

指標	整備実施率（%） ※（工事・設計委託・用地取得）／採択数		
目標値	R８	R９	R１０
	50%	50%	50%

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	50%	55%	A　目標値以上

今後も通学路の通行安全を確保するため、優先順位を設けて計画的に進めていく。現状の要望箇所は全て採択して進捗を図っているが、要望に対して 50%の採択率を維持していく。

No	107-1	まちづくりと防災への安心	
事 業 名	**主要幹線道路改良事業**（堀之内駒場線改良事業）		
事業概要	広域圏の交通の円滑化と市域の交流・連携を高めるため、主要道路の整備を行う。		
担当課名	道路河川課	概算事業費（千円）	132,600

事業内容	R８	R９	R１０
	道路改良工事 用地買収 物件移転補償		（R9 事業完了）

指標	事業進捗率（%）（事業費ベース）		
目標値	R８	R９	R１０
	97%	100%	―

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	94%	94%	A　目標値以上

用地交渉を実施した。引き続き用地買収、物件移転補償、道路改良工事を実施し、R9 年度完了を目指していく。

No	107-2		まちづくりと防災への安心	
事 業 名	**主要幹線道路改良事業**（高木蛭池幹線改良事業）			
事業概要	広域圏の交通の円滑化と市域の交流・連携を高めるため、主要道路の整備を行う。			
担当課名	道路河川課	概算事業費（千円）	125,300	
事業内容	R８	R９	R１０	
	道路改良工事 用地買収 物件移転補償			
指標	事業進捗率（%）（事業費ベース）			
目標値	R８	R９	R１０	
	72%	74%	76%	
実績 （R７）	目標値	実績値	評　価	
	70%	66%	B　目標値の 70%から 100%未満	
	道路改良工事を実施した。計画的な事業進捗が図れるよう、引き続き用地買収、物件移転補償、道路改良工事を実施し、通行の安全を確保する。期成同盟会との調整により休止についても検討していく。			

No	107-3		まちづくりと防災への安心	
事 業 名	**主要幹線道路改良事業**（匂坂新天龍幹線改良事業）			
事業概要	広域圏の交通の円滑化と市域の交流・連携を高めるため、主要道路の整備を行う。			
担当課名	道路河川課	概算事業費（千円）	900,000	
事業内容	R８	R９	R１０	
	測量設計 地質調査	道路改良工事 用地買収 物件移転補償		
指標	事業進捗率（%）（事業費ベース）			
目標値	R８	R９	R１０	
	2%	3%	4%	
実績 （R７）	目標値	実績値	評　価	
	1%	1%	A　目標値以上	
	当該路線の当初事業区間である磐田西高校まで整備は、R5 年度に完成した。R6 年度からR7 年度にかけて、磐田西高校から国道１号バイパスまでの区間を延伸するための基本となる調査を行った。R8 年度から当該路線を延伸するための事業を新規開始し、測量や設計業務を開始していく。			

No	107-4	まちづくりと防災への安心	
事 業 名	**主要幹線道路改良事業**（一色宇兵衛新田幹線改良事業）		
事業概要	広域圏の交通の円滑化と市域の交流・連携を高めるため、主要道路の整備を行う。		
担当課名	道路河川課	概算事業費（千円）	8,000

事業内容	R８	R９	R１０
	舗装工事 既設構造物撤去	（R8 事業完了）	（R8 事業完了）

指標	事業進捗率（%）（事業費ベース）

目標値	R８	R９	R１０
	100%	―	―

実績 （R７）	目標値	実績値	評　価
	98%	98%	A　目標値以上
	R7 年度に静岡県施工の 150 バイパス（福田工業団地まで）の開通に併せて、当該路線の本線を完了した。R8 年度は市道との取り合い工事を実施し、完成する見込みである。		

No	107-5	まちづくりと防災への安心	
事 業 名	**主要幹線道路改良事業**（磐田山梨線改良事業）		
事業概要	広域圏の交通の円滑化と市域の交流・連携を高めるため、主要道路の整備を行う。		
担当課名	道路河川課	概算事業費（千円）	490,020

事業内容	R８	R９	R１０
	 道路改良工事 用地買収 物件移転補償		

指標	事業進捗率（%）（事業費ベース）

目標値	R８	R９	R１０
	79%	85%	90%

実績 （R７）	目標値	実績値	評　価
	73%	60%	B　目標値の 70%から 100%未満
	当該路線の事業は、用地取得を進めているが、国からの交付金が要望に対して、約 50%であることから計画どおりの進捗が図られていない。他の幹線道路が完成していくことで、本路線に交付金を集中的に充当していく計画である。		

No	107-6	まちづくりと防災への安心	
事 業 名	**主要幹線道路改良事業**（大立野福田幹線改良事業）		
事業概要	広域圏の交通の円滑化と市域の交流・連携を高めるため、主要道路の整備を行う。		
担当課名	道路河川課	概算事業費（千円）	240,000

事業内容	R８	R９	R１０
			
	道路改良工事		

指標	事業進捗率（%）（事業費ベース）

目標値	R８	R９	R１０
	92%	96%	100%

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	90%	89%	B　目標値の 70%から 100%未満

1,440mまで整備が完了し、進捗率は事業全体の約 89%。用地交渉に時間を要し、国の交付金要望どおりでなかったため、道路改良工事の期間を R8 年度から R11 年度まで延伸する。
また、橋梁整備については、県河川の改修後に行う計画のため、R12 年度以降の計画は未定である。

No	108	まちづくりと防災への安心	
事 業 名	**道路側溝舗装新設改良事業**		
事業概要	自治会要望による生活道路整備等を行う。		
担当課名	道路河川課	概算事業費（千円）	620,000

事業内容	R８	R９	R１０
			
	改良工事		

指標	自治会要望工事実施率（%）

目標値	R８	R９	R１０
	50%	50%	50%

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	50%	50%	A　目標値以上

自治会要望工事の実施率向上に努めることができた。引き続き、効果的な整備を行い実施率向上に努める。

No	109	まちづくりと防災への安心	

事業名	幹線道路関連整備事業		
事業概要	幹線道路事業における道路整備を行う。（幹線道路整備事業に係る交付金等の特定財源採択対象外の市単独事業分・道路拡幅に伴う付帯事業）		
担当課名	道路河川課	概算事業費（千円）	906,100

事業内容	R８	R９	R１０
	→ 道路改良工事		

指標	幹線道路整備延長（面積㎡）

目標値	R８	R９	R１０
	5,000 ㎡	5,000 ㎡	5,000 ㎡

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	5,000 ㎡	5,950 ㎡	A　目標値以上

幹線道路の舗装老朽化に伴う整備を計画どおり実施した。今後についても道路の通行に支障が無いよう計画的に整備を進める。

No	110	まちづくりと防災への安心	総合戦略

事業名	橋梁補修事業		
事業概要	老朽化した橋梁の延命化を図るため、長寿命化修繕計画を策定し、順次修繕整備を実施する。また、緊急輸送路に架かる橋梁、緊急輸送路を補完する防災上重要な橋梁の耐震補強工事を行う。		
担当課名	道路河川課	概算事業費（千円）	1,242,000

事業内容	R８	R９	R１０
	→ 橋梁点検、修繕工事、耐震工事		

指標	①予防保全及び早期措置段階修繕橋梁数（累計） ②緊急輸送路を補完する防災上重要な橋長 15m 以上の橋梁耐震化数

目標値	R８	R９	R１０
	①78 橋 ②　1 橋	①85 橋 ②　1 橋	①90 橋 ②　1 橋

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	①70 橋 ②　1 橋	①68 橋 ②　1 橋	①B　目標値の 70%から 100%未満 ②A　目標値以上

橋梁長寿命化計画の 1 巡目点検(H26～H30)による Ⅲ判定橋梁 32 橋の補修が完了し、今後は 2 巡目点検(R1～R5）の Ⅲ判定橋梁 58 橋の補修および 3 巡目点検(R6～R10)を実施していく。R7 年度は上野橋外２橋の橋梁補修工事が完了した。R8 年度は、富士見橋外６橋の橋梁補修工事を実施する。

現在の橋梁耐震化計画は、緊急輸送路に架橋されている橋梁が完了したため、緊急輸送路を補完する道路に架橋されている橋梁の耐震化を進めている。R7 年度は、富士見橋の耐震化補強設計を行った。R8 年度は、竜王橋の耐震補強実施設計を行っていく。

No	111	暮らしと健康の安心	総合戦略

事業名	地域公共交通推進事業		
事業概要	高齢者等の交通弱者の日常生活における移動手段を確保するため、デマンド型乗合タクシーを運行する。通勤通学における移動手段を確保するため、自主運行バスを運行する。		
担当課名	自治デザイン課	概算事業費（千円）	820,679

事業内容	R８	R９	R１０
	「お助け号」全8路線の運行委託 自主運行バスの運行委託（掛塚磐田駅線、磐田線） 「交通空白」調査	→	「お助け号」全8路線の運行委託 自主運行バスの運行委託（掛塚磐田駅線、磐田線）

指標	「お助け号」の利用者数 ※前年度の実績×1.05		
目標値	R８	R９	R１０
	66,276 人	69,590 人	73,069 人

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	44,408 人	63,125 人	A　目標値以上
	デマンド型乗合タクシー「お助け号」の制度周知や利便性の向上に努め、利用促進を図る。また、通勤通学における移動手段を確保するため、自主運行バスを運行した。		

No	112	暮らしと健康の安心	総合戦略

事業名	民間バス事業者支援事業		
事業概要	市民の通勤通学の足となるバス路線の確保・維持を図るため、民間バス事業者に対し補助金を交付する。		
担当課名	自治デザイン課	概算事業費（千円）	287,946

事業内容	R８	R９	R１０
	→		
	バス運行に係る欠損額を補助 路線バス利用促進に係る施設整備費用等の一部を補助		

指標	補助系統数		
目標値	R８	R９	R１０
	16 本	16 本	16 本

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	16 本	16 本	A　目標値以上
	地域公共交通計画に基づき、地域住民の交通の利便を確保するため、路線バス 16 系統を対象に補助金を交付した。 物価上昇による運行経費の増と人口減少に伴う利用者の減により交付額が補助上限額に達しているため、利用者増への啓発活動を検討していきたい。		

基本施策 3　良好な住環境の整備

施 策 の 内 容

⑴ **良好な住環境を創出します**
⑵ **安定した市営住宅の供給を推進します**
⑶ **公園の整備と緑化を推進します**
⑷ **空き家対策を推進します**

実 施 計 画 事 業

No	113(終了)		まちづくりと防災への安心	
事 業 名	**新貝土地区画整理支援事業**			
事業概要	新貝地区の土地利用の促進を図り、御厨駅を中心とした良好な市街地を形成するため、新貝土地区画整理事業（組合施行）に対し支援を行う。 事業期間：H17～R７年度　施行面積：40.4ha			
担当課名	都市整備課	概算事業費（千円）	0	
事業内容	R８	R９	R１０	
	(R7 で事業完了)	(R7 で事業完了)	(R7 で事業完了)	
指標	事業進捗率（組合事業費ベース） ※組合事業費累計額÷組合総事業費（事業計画書上の総事業費 7,848 百万円） ※県事務費及び借入利子償還金を含み、地区外事業費は除く。			
目標値	R８	R９	R１０	
	―	―	―	

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	100%	100%	A　目標値以上
	R7 年度で事業が完了し、組合清算後、認可を得て組合解散となった。		

No	114	まちづくりと防災への安心	総合戦略

事業名	鎌田第一土地区画整理支援事業		
事業概要	鎌田地区の土地利用の促進を図り、御厨駅を中心とした良好な市街地を形成するため、鎌田第一土地区画整理事業（組合施行）に対し支援を行う。 事業期間　H21～R15 年度　施行面積　25.2ha		
担当課名	都市整備課	概算事業費（千円）	1,422,083

	R８	R９	R１０
事業内容	組合事業の支援 三ケ野鎌田線こ線橋 JR 協議 県への負担金の納入 都市再生区画整理事業の交付 1 号調整池影響地区外物件調査 地区外道路の設計 道路等の工事（7 号調整池） 地区外道路工事 地区外道路測量（6-1 号線） 物件補償	組合事業の支援 三ケ野鎌田線こ線橋のヤード整備 県への負担金の納入 都市再生区画整理事業の交付 三ケ野鎌田線こ線橋の協定外工事（組合への支援、区域外工事） 地区外調整池 道路等の工事（7 号調整池） 地区外物件補償（1 号調整池） 地区外道路測量（6-1 号線）	組合事業の支援 県への負担金の納入 都市再生区画整理事業の交付 三ケ野鎌田線こ線橋の JR との協定締結 三ケ野鎌田線こ線橋の協定外工事（組合への支援） 地区外調整池 道路等の工事 地区外道路舗装（6-1 号線） 9 号調整池地区外影響物件補償調査 地区外 8 号調整池用地買収
指標	事業進捗率（組合事業費ベース） ※組合事業費累計額÷組合総事業費（事業計画書上の総事業費 10,384 百万円） ※借入利子償還金を含み、地区外事業費は除く		
目標値	R８	R９	R１０
	67%	78%	85%

目標値	実績値	評　価
65%	58%	B　目標値の 70%から 100%未満

実績（R７）

R7 年度に事業計画の変更を実施し、事業費の増額と事業期間の延伸を実施したため、R7 年度実績値は目標値の 7 割程度であったが、変更前で換算すると 64%であり、目標値に対して 9 割以上の実績となる。

組合事業としては、資金計画を基に毎年見直しをかけながら計画的に事業を進めている。保留地の販売については約 45%が売買契約を締結している。

しかしながら、物価の高騰により進捗に遅延が生じていることで、土地区画整理全体事業費の見直しが必要となっている。

No	115	暮らしと健康の安心	
事 業 名	**市営住宅施設管理事業**		
事業概要	市営住宅の計画的な修繕・改修を実施し、長寿命化を図る。また、老朽化した住宅の計画的な用途廃止を実施する。		
担当課名	建築住宅課	概算事業費（千円）	186,273

事業内容	R８	R９	R１０
	はまぼう団地屋根外壁改修工事（B･C 棟） 用途廃止に伴う住替え移転１戸（大藤団地）	再開発住宅屋根外壁改修工事設計 竜洋豊岡団地給水ポンプ改修設計 用途廃止に伴う住替え移転１戸（大藤）	再開発住宅屋根外壁改修工事（A・B・C 棟） 竜洋豊岡団地ポンプ改修 竜洋豊岡団地屋根外壁設計 はまぼう団地電気温水器設計 用途廃止に伴う住替え移転２戸（大藤）

指標	管理戸数

目標値	R８	R９	R１０
	385 戸	385 戸	385 戸

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	385 戸	385 戸	A　目標値以上

市営住宅ストック再編計画に基づき大藤団地２戸の住替え移転を実施した。（大藤団地は R12 年度に廃止予定）
長寿命化計画に基づきはまぼう団地Ａ棟の屋根・外壁改修工事を実施した。
今後も、計画的な修繕・改修を実施し、長寿命化を図るとともに、老朽化した住宅の計画的な用途廃止を実施する。

No	116	暮らしと健康の安心	
事 業 名	**公園施設長寿命化事業**		
事業概要	公園施設長寿命化計画に沿って、老朽化した公園施設（遊具等）の改修を計画的に行う。		
担当課名	都市整備課	概算事業費（千円）	128,327

事業内容	R８	R９	R１０
	かぶと塚公園遊具更新	兎山公園、豊田森下水神公園遊具更新	竜洋袖浦公園遊具更新

指標	長寿命化計画対象公園 39 のうち、遊具等の更新・撤去等を実施した公園数（累計）

目標値	R８	R９	R１０
	12 公園	14 公園	15 公園

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	10 公園	11 公園	A　目標値以上

更新遊具のデザインを投票により決定した。
国庫補助金が要望通り採択されないため、定期的に更新計画の見直しが必要となっているが、今後も更新計画に従い、遊具の更新を実施していく。

No	117	まちづくりと防災への安心	

事業名	新貝公園整備事業		
事業概要	令和５年度に新貝土地区画整理組合より移管された新貝公園の整備を行う		
担当課名	都市整備課	概算事業費（千円）	117,124

事業内容	R８	R９	R１０
	駐車場整備 遊具設置 植栽	（R8 事業完了）	（R8 事業完了）

指標	全体事業費に対する単年度ごとの整備事業費（事業費ベース進捗率）		
目標値	R８	R９	R１０
	100%	―	―

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	60.7%	55.1%	B　目標値の 70%から 100%未満
	園路広場及び電気設備等の整備を実施した。 公園の供用開始に伴う自治会との調整が課題となっているが、今後も遊具、トイレ、及び植栽の整備を実施し、R8 年度内に公園の供用を開始する。		

No	118	まちづくりと防災への安心	

事業名	緑化推進事業		
事業概要	市民活動への支援等を通じ、緑の普及や緑化意識の高揚を図り、公園に関する事務を円滑に遂行する。また、磐田市緑の基本計画を見直し、新たな計画へと改訂するための基礎調査、基本方針の検討を行う		
担当課名	都市整備課	概算事業費（千円）	26,682

事業内容	R８	R９	R１０
	緑の基本計画改訂業務委託 緑化推進委員会事業費補助金 花の会活動事業費補助金 さくら百年プロジェクト	→	緑化推進委員会事業費補助金 花の会活動事業費補助金 さくら百年プロジェクト

指標	さくら植樹数の進捗率（総数 130 本）（%）		
目標値	R８	R９	R１０
	66.1%	81.5%	100%

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	7.7%	27.6%	A　目標値以上
	敷地川さくらづつみ外 2 公園に計 36 本のさくらを植樹した。 老朽化が進む樹木の伐採及び植樹に伴う地域住民との合意形成が課題となっているが、今後も神社仏閣、企業、及び市民団体等へさくらの苗木を配布していく。		

No	119※新規		まちづくりと防災への安心	
事 業 名	**竜洋海洋公園再整備事業**			
事業概要	開園より 39 年が経過し、施設の老朽化が顕著となっていることから官民連携手法を活用した公園の再整備を行うことにより、賑わいの創出及び地域の活性化を目指す。			
担当課名	都市整備課	概算事業費（千円）	72,976	
事業内容	R８	R９	R１０	
	基本構想・導入可能性調査	基本計画作成	公募資料作成 アドバイザリー業務	
指標	全体事業費に対する単年度ごとの整備事業費（事業費ベース進捗率）			
目標値	R８	R９	R１０	
	3.5%	8.5%	10.2%	

No	120		まちづくりと防災への安心	総合戦略
事 業 名	**空き家対策事業**			
事業概要	空き家の除却への支援及び既存住宅の取得やリフォーム補助制度の実施により、空き家の増加を防ぐとともに、移住・定住の促進を図る。			
担当課名	建築住宅課	概算事業費（千円）	177,171	
事業内容	R８	R９	R１０	
	既存住宅取得等事業費補助金の交付 危険空き家等除却事業費補助金の交付 空き家の活用、管理、除却の促進			
指標	①既存住宅取得等事業費補助金の交付件数 ②危険空き家等除却事業費補助金の交付件数			
目標値	R８	R９	R１０	
	①48 件 ② 4 件	①51 件 ② 4 件	①54 件 ② 4 件	

実績 （R７）	目標値	実績値	評　価
	①43 件 ② 6 件	①54 件 ② 4 件	①A　目標値以上 ②B　目標値の 70%から 100%未満
	既存住宅取得等事業費補助金については、目標を上回る交付件数となった。近隣市との競争の面では、移住定住に効果があると考えているため、継続するとともに、今後は、遠方からの移住者獲得もできるよう周知方法等の見直しを図る。 危険空き家等除却事業費補助金については、所有者の責任に働きかける内容に補助対象を改め、危険な空き家の除却と所有者への意識啓発を進めることができた。		

基本施策 4　水道水の安定供給と下水道の整備

施 策 の 内 容

⑴ **上下水道の経営基盤を強化します**
⑵ **水道施設の災害対策を推進します**
⑶ **下水道の未普及対策と施設の耐震化・長寿命化を推進します**
⑷ **合併処理浄化槽設置を推進します**

実 施 計 画 事 業

No	121		まちづくりと防災への安心	
事 業 名	**老朽管更新事業**			
事業概要	水道管の老朽化による水道事故の防止及び管の耐震化を図る。			
担当課名	上下水道工事課	概算事業費（千円）	4,053,295	
事業内容	R８	R９	R１０	
	→	→	→	
	調査・実施設計 老朽管更新工事（管路耐震、老朽管更新、漏水対策）			
指標	老朽管の更新（耐震化）延長（km）			
目標値	R８	R９	R１０	
	9.2 km	13km	13 km	
実績 （R７）	目標値	実績値	評　価	
	8.4km	9.9km	A　目標値以上	
	目標値である 8.4 ㎞を超える 9.9 ㎞を実施することができた。R8 年度以降は交付金を活用し計画的に事業を推進していく。			

No	122	まちづくりと防災への安心	総合戦略
事 業 名	**下水道施設総合地震対策事業**		
事業概要	震災時に緊急輸送路等の交通機能確保や下水道流下機能確保のため、下水道施設耐震対策指針の改定（平成 9 年）以前に整備した下水道マンホール等について、液状化対策(浮上防止)等を実施する。		
担当課名	上下水道工事課	概算事業費（千円）	601,443
事業内容	R８	R９	R１０
	→	→	
	下水道マンホール浮上防止対策 マンホール管口の耐震化(可とう化)		
指標	～R7：第２期（R3～R7）の計画数量（耐震化数量）に対する進捗率（%） R8～：第３期（R8～R12）の計画数量（耐震化数量）に対する進捗率（%）		
目標値	R８	R９	R１０
	20%	40%	60%
実績 (R７)	目標値	実績値	評　価
	100%	100%	A　目標値以上
	下水道の耐震化は、総合地震対策計画（第 2 期：R3～R7）に基づき、約 2.1km の管渠耐震化を実施し、年度目標を達成することができた。 今後も、緊急性などの優先度を考慮し、下水道管渠の耐震化を計画的に推進していく。		

No	123	まちづくりと防災への安心	
事 業 名	**磐南処理区公共下水道施設整備事業**		
事業概要	磐南浄化センターまでの管渠整備を行う。 ・全体計画整備面積 4,070ha（S56～R10） ・事業計画整備面積 3,638ha（R7～R10）		
担当課名	上下水道工事課	概算事業費（千円）	1,764,510
事業内容	R８	R９	R１０
	→	→	
	管渠実施設計 管渠工事		
指標	面積整備率（%） ※過年度整備面積/事業計画面積		
目標値	R８	R９	R１０
	90%	90%	90%
実績 (R７)	目標値	実績値	評　価
	89%	87%	B　目標値の 70%から 100%未満
	下水道管渠整備は、計画どおり 6.9km を実施することができた。 今後も計画的に、未整備地区の管渠整備をしていく。		

No	124		まちづくりと防災への安心	
事 業 名	**豊岡処理区公共下水道施設整備事業**			
事業概要	豊岡クリーンセンターまでの管渠整備を行う。 ・全体計画整備面積 315ha（H6～R10） ・事業計画整備面積 299ha（R7～R10）			
担当課名	上下水道工事課	概算事業費（千円）	14,400	
事業内容	R８	R９	R１０	
	→	→	→	
	管渠実施設計 管渠工事			
指標	面積整備率（%） ※当該年度整備面積/事業計画面積			
目標値	R８	R９	R１０	
	96%	96%	96%	
実績（R７）	目標値	実績値	評　価	
	96%	95%	B　目標値の 70%から 100%未満	
	主要な管渠整備はR4 年度までに完了し、目標を達成した。 今後は、要望などを考慮して整備箇所を検討していく。			

No	125		まちづくりと防災への安心	
事 業 名	**公共下水道磐南浄化センター施設整備事業**			
事業概要	磐南浄化センターの耐震化及び更新工事を行う。 ・事業計画：処理区域 3,638ha ・計画処理人口：139,810 人			
担当課名	上下水道工事課	概算事業費（千円）	3,041,280	
事業内容	R８	R９	R１０	
	→	→	→	
	浄化センター･ポンプ場の設計 浄化センター･ポンプ場の工事			
指標	磐南浄化センター施設の耐震化率（%）			
目標値	R８	R９	R１０	
	65%	65%	65%	
実績（R７）	目標値	実績値	評　価	
	65%	65%	A　目標値以上	
	耐震診断や設備更新設計を実施した。今後も計画的に耐震・更新を進めていく。			

No	126	まちづくりと防災への安心	
事 業 名	**公共下水道マンホールポンプ整備事業**		
事業概要	マンホールポンプの機械・電気設備の更新工事を行う		
担当課名	上下水道工事課	概算事業費（千円）	399,765

事業内容	R８	R９	R１０
			
	マンホールポンプ更新		

指標	ストックマネジメント計画に基づくマンホールポンプ更新数		
目標値	R８	R９	R１０
	13 箇所	11 箇所	8 箇所

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	10 箇所	7 箇所	B　目標値の 70%から 100%未満
	計画に基づき 7 箇所の更新を完了した。今後も財源の確保に努め、計画的に更新を進めていく。		

No	127	まちづくりと防災への安心	
事 業 名	**合併処理浄化槽補助事業**		
事業概要	下水道事業計画区域及び農業集落排水処理区域を除く地域で、生活排水による公共用水域の水質汚濁の防止を図るため、市が浄化槽の設置者に対して設置に要する経費の一部を支援する。		
担当課名	上下水道総務課	概算事業費（千円）	200,645

事業内容	R８	R９	R１０
			
	合併処理浄化槽設置補助金の交付		

指標	浄化槽設置整備費補助金交付件数（基）		
目標値	R８	R９	R１０
	100 基	110 基	110 基

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	100 基	88 基	B　目標値の 70%から 100%未満
	R7 年度は 88 基、51,996 千円の補助金を交付した。R6 年度と比べ単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換は 7 基（16.3%）増と計画を上回る 50 基分の交付となった。 引き続き、浄化槽清掃業者等との共創等による補助制度の周知を実施することで転換促進を図り、公共用水域の水質汚濁防止、汚水処理人口普及率の向上に繋げていく。		

基本施策 5　環境にやさしい社会の確立

施 策 の 内 容

⑴ **地球温暖化対策を推進します**
⑵ **自然環境の保全を推進します**
⑶ **環境の保全を推進します**
⑷ **環境教育及び環境保全活動を推進します**

実 施 計 画 事 業

No	128	まちづくりと防災への安心	総合戦略

事業名	**地球環境保全事業**		
事業概要	第２次磐田市環境基本計画後期計画を推進し、環境保全に関する取組みを進める。また、市が市有施設を 100%LED 化するなど地球温暖化防止対策を率先して実施し、市民の行動変容を促す。		
担当課名	環境課	概算事業費（千円）	13,620
事業内容	R８	R９	R１０
	第３次環境基本計画の策定に向けた準備、地球温暖化対策の更なる推進、生物多様性地域戦略策定調査	第３次環境基本計画の策定、第４次磐田市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の策定、地球温暖化対策の更なる推進、生物多様性戦略の策定	地球温暖化対策の更なる推進
指標	市の施設等における二酸化炭素排出量の削減率（H25 年度比）（%）		
目標値	R８	R９	R１０
	40%	43%	45%

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	38%	21%	C　目標値の 70%未満
	LED 化した施設は、電気使用量が削除し、省エネが進んでいる。課題は、省エネによる電気使用量の削減余地が少なくなっていることや国の二酸化炭素排出係数見直しにより、削減率が低下したことが挙げられる。今後は、公共施設の照明 LED 化や再エネ電力導入の検討により二酸化炭素の削減を図っていく。		

No	129	まちづくりと防災への安心	
事業名	新エネルギー・省エネルギー設備普及促進事業		
事業概要	温室効果ガス排出量を削減するため、新エネルギー・省エネルギー設備の普及促進を図る。		
担当課名	環境課	概算事業費（千円）	30,072

	R８	R９	R１０
事業内容	新エネルギー･省エネルギー設置普及促進奨励金の交付		
指標	奨励金交付件数		
目標値	500 件	500 件	500 件

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	500 件	511 件	A　目標値以上

R7 年度は太陽光発電設備や蓄電池等 511 件、8,840 千円を交付した。また、R7 年度から市民と共創によるＪクレジットの創出に向けた事業を開始した。この事業はゼロカーボンシティの実現に有効な手段であることから、今後も継続していく。

No	130※新規	まちづくりと防災への安心	
事業名	市有施設ＬＥＤ照明リース事業		
事業概要	市の施設から排出される二酸化炭素の削減を図るため、リース事業により未改修の公共施設照明をＬＥＤ化する。		
担当課名	環境課	概算事業費（千円）	85,843

	R８	R９	R１０
事業内容	市有施設ＬＥＤ工事 15 施設 リース費用の支払	市有施設ＬＥＤ工事 59 施設 リース費用の支払	市有施設ＬＥＤ工事 75 施設 リース費用の支払
指標	リース事業によるＬＥＤ化率(%)		
目標値	10%	50%	100%

No	131	まちづくりと防災への安心	総合戦略

事業名	環境保全啓発事業		
事業概要	市民や事業者等の環境保全意識の啓発を行い、自主的な環境保全活動を促す。		
担当課名	環境課	概算事業費（千円）	15,413

事業内容	R８	R９	R１０
	アース・キッズ事業の実施 市民や団体が行う環境保全活動の支援 自然観察教室などの開催 いわたエコフェスタ、いわた気候会議の開催		

指標	アース・キッズ事業参加小学生人数		
目標値	R８	R９	R１０
	市内小学５年の児童数の半数以上	市内小学５年の児童数の半数以上	市内小学５年の児童数の半数以上

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	市内小学５年の児童数の半数以上	836 人	A　目標値以上

市内小学 5 年生 1,411 人（R7.5.1 現在の該当児童数）のうち、半数以上（15 校 836 人）の児童に対して実施できた。

今後は、スポーツ関係者と連携して環境負荷の削減に取り組む意欲を高める環境学習事業を実施していく。

基本施策 6　快適な生活環境の確保

施 策 の 内 容

⑴ **地域社会の生活環境問題を改善します**
⑵ **ごみの減量化を推進します**
⑶ **ごみの資源化を推進します**
⑷ **廃棄物の適正な処理を推進します**
⑸ **火葬場及び霊園の整備と適正管理を推進します**
⑹ **愛玩動物の適正飼育を推進します**

実 施 計 画 事 業

No	132(終了)		まちづくりと防災への安心	
事 業 名	**クリーンセンター周辺環境整備事業**			
事業概要	周辺環境整備等の事業推進及び既存施設の解体・跡地整備を実施する。 事業期間：H23～R7			
担当課名	ごみ資源循環課	概算事業費（千円）	0	
事業内容	R８	R９	R１０	
	(R7 で事業完了)	(R7 で事業完了)	(R7 で事業完了)	
指標	周辺環境整備の計画的な事業進捗率（%）			
目標値	R８	R９	R１０	
	―	―	―	

実績（R７）	目標値	実績値	評　価
	100%	100%	A　目標値以上

磐田市新クリーンセンター建設の際、周辺５自治会から道路及び側溝等の老朽化による劣化や狭い道路幅員により、すれ違いが困難なことなど生活環境の改善について 44 件の地元要望を受け事業がスタートした。H18 年度に工事着手し、R7 年度をもってすべての要望工事が完了したことにより、地域が長年抱えてきた生活環境上の懸念は解消された。
事業は終了となるが、今後も地元からの要望については、道路管理者と協議しながら丁寧に対応していく。